

**教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書
(平成24年度対象)**

**平成25年9月
川越市教育委員会**

目 次

I はじめに	1
II 点検及び評価の実施方法	2
III 施策を評価する表における「指標の推移」及び「成果実績」について	2
IV 学識経験者の知見の活用	2
V 施策評価の基準	3
VI 川越市教育振興基本計画の施策目標値「達成状況総括表」	4
VII 川越市教育振興基本計画の施策目標値「達成状況一覧」	5
VIII 川越市教育振興基本計画「施策評価総括表」	7
IX 川越市教育振興基本計画「施策評価一覧」	8
X 進行管理（点検評価）シート	11
方向性Ⅰ 生きる力を育む学校教育の推進	12
方向性Ⅱ 活力ある地域を創る生涯学習の推進	52
方向性Ⅲ 歴史文化の継承と新しい市民文化の創造	74
方向性Ⅳ 多文化共生と国際交流・協力の推進	84
方向性Ⅴ 生涯スポーツの推進	90

I はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づいた川越市教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行った結果についてとりまとめたものです。

教育委員会は、市長から独立した立場で教育行政に関する基本方針のもと、学校教育や社会教育など広範かつ専門的な教育行政事務を管理及び執行するために設置された合議制の機関（行政委員会）です。

平成 19 年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会が事前に策定した「基本方針」にそって具体的な教育行政事務が管理及び執行されているかについて、教育委員会自らが点検及び評価を実施し、その点検及び評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされました。

川越市教育委員会は、平成 23 年 2 月に策定した川越市教育振興基本計画の施策について、教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を教育に関する学識経験を有する方々の知見を活用し実施いたしました。

川越市教育委員会は、この点検及び評価の結果及び知見者の方々からいただいたご意見を生かし、計画的かつ効果的な教育行政を推進してまいります。

<参考>

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律<抄>

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成 20 年 4 月 1 日施行）

なお、平成 23 年度評価対象から川越市教育振興基本計画の施策を点検及び評価の対象とし、川越市教育振興基本計画の進行管理の点検評価も併せて、報告書としています。平成 22 年度から文化及びスポーツに関する事務は、教育委員会から市長部局に移管されておりますが、参考として文化及びスポーツに関する事務は、市長部局において点検・評価を行ったものを併せて、報告書に掲載しています。

<参考>

○川越市教育振興基本計画第 3 章「計画の推進」

計画を効果的に推進するため、主要な施策の目標値を設定するとともに、学識経験者の知見を活用し、事務事業の点検評価を実施することにより、計画の進行管理を行います。その結果を踏まえ必要に応じ、施策の見直しを行いながら計画を推進します。

Ⅱ 点検及び評価の実施方法

川越市教育振興基本計画は、5つの方向性（基本方針）を基に、39 項目の施策の柱と 106 項目の細施策で構成されており、施策の成果を表す目標値として 42 項目を掲げています。点検及び評価は、106 項目の細施策を単位とし、42 項目の目標値や細施策の事業等の実績を基に進捗状況を担当課が評価し、改善の方策を示します。そして、39 の施策の柱ごとに、学識経験者のご意見をいただき、総合的な評価を行います。

Ⅲ 施策を評価する表における「指標の推移」及び「成果実績」について

- ・「指標の推移」については、平成 27 年度末において達成を目指す施策の目標値（指標）42 項目において成果や達成度を測るために、指標及び説明とともに平成 24 年度までの実績値を掲載しています。
- ・「成果実績」については、施策の目標値を持たない 42 項目以外の施策について、平成 24 年度までの成果実績を数値化し、実績値及び達成状況の把握を行います。

Ⅳ 学識経験者の知見の活用

点検及び評価の実施にあたっては、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」に関して、下記の 3 名からご意見をいただき、点検及び評価の内容に反映させていただきました。

氏 名	役 職
神 林 邦 子	川越市 PTA 連合会書記
小 山 義 文	川越商工会議所常議員
瀬 沼 進 一	元川越市立中学校長

V 施策評価の基準

各細施策、施策の柱の点検及び評価は、次の4区分により達成度の評価を行う。

A 施策、事業の達成度、進ちよくが順調である。

目標値に対し達成度が非常に高い。

目標値の場合、現在値(平成21年度末)を基本とし目標値から見て実績値の達成状況が80%以上。

B 施策、事業の達成度、進ちよくが概ね順調である。

目標値に対し達成度が高い。

目標値の場合、現在値(平成21年度末)を基本とし目標値から見て実績値の達成状況が60%以上80%未満。

C 施策、事業の達成度、進ちよくがあまり順調でない。

目標値に対し達成度がやや低い。

目標値の場合、現在値(平成21年度末)を基本とし目標値から見て実績値の達成状況が40%以上60%未満。

D 施策、事業の達成度、進ちよくが順調でない。

目標値に対し達成度が低い。

目標値の場合、現在値(平成21年度末)を基本とし目標値から見て実績値の達成状況が40%未満。

○目標値は、その施策の目標・目的の中で数値化できるものを表したものです。

施策の評価は、指標の進ちよくだけでなく、その他の事業実績等も包含した上で総合的に評価しています。

VI 川越市教育振興基本計画の施策目標値「達成状況総括表」

方向性	施策数	施策の 柱 数	細施策数(うち 指標設定のない 細施策数)	目標値の ある指標数	現時点で 目標を 達成済	未達成	
						H23年度より 改善が見られ ている指標	H23年度より 改善が見られ ていない指標
方向性Ⅰ	2	20	53 (42)	11	5	4	2
方向性Ⅱ	3	10	28 (16)	14	7	3	4
方向性Ⅲ	1	4	14 (6)	13	7	4	2
方向性Ⅳ	1	3	7 (5)	2	0	1	1
方向性Ⅴ	1	2	4 (2)	2	0	1	1
合 計	8	39	106 (71)	42	19	13	10

(注) 『達成状況一覧』は、5・6ページに掲載されています。

Ⅶ 川越市教育振興基本計画の施策目標値「達成状況一覧」

方向性	施策	担当課	指標	単位	現在値 (H21)	H22	H23	H24	H25	H26	目標値 H27	達成状況 及び傾向
						実績値	実績値	実績値	実績値	実績値		
I	1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進	教育センター分室(リベール)	さわやか相談員がかかわりを持ち、解決した割合(%)	%	66.8	82.9	84.0	84.2			75.0	
		教育指導課	中学校の不登校出現率	%	3.33	2.63	2.59	2.17			2.75	
		教育センター	教職員の研修参加回数	回	4.1	4.4	5.1	5.2			4.4	
		教育センター	授業におけるICT(情報通信技術)活用授業回数	回	28	32.2	36.8	34.1			35	
		教育センター	情報モラルに関する指導ができる教員の割合(文部科学省及び川越市独自調査)	%/校	66	75	76	77			80	
		中央図書館	図書館司書による学校訪問等の回数(校数)	回	20	32	32	32			32	
				校	20	32	32	32			32	
		中央図書館	学校への団体貸出数	冊	5,725	6,886	5,158	5,059			8,000	
	教育指導課	新体力テスト総合評価(5段階)で3段階以上の割合	%	82.6	83.2	83.7	85			90.0		
	2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実	教育財務課	学校施設の耐震化の推進	%	63	76	93	100			100	
教育財務課		大規模改造工事の推進	%	44	52	54	55			59		
学校給食課		学校給食における地場産物の使用拡大	%	19.3	8.8	19.1	19.6			20.0		
II	1 家庭・地域の教育力の向上	地域教育支援課	子どもサポート事業への参加者数	人	11,105	15,409	22,196	33,696			15,000	
		地域教育支援課	学校応援団の活動数	件	107	138	144	225			216	
		地域教育支援課	ジュニアリーダーズクラブ登録者の割合	%	82.5	85.7	84.1	89.0			85.0	
	2 生涯にわたる学習活動の推進	文化芸術振興課	生涯学習センターの設置	館	0	0	0	0			1	
		中央公民館	町内公民館講座の開設数	講座	69	74	81	85			70	
		中央公民館	生涯学習事業参加者数	人	93,530	98,402	111,700	110,970			135,000	
		地域教育支援課	公民館における人権教育指導者養成講座参加者数	人	3,798	3,766	3,813	4,000			4,000	
	3 生涯学習環境の整備・充実	中央図書館	蔵書数	冊	799,883	805,270	812,526	820,239			860,000	
		中央図書館	大学図書館との連携	校	1	1	1	1			2	
		博物館	博物館の入館者数	人	89,022	77,163	90,746	94,318			100,000	
博物館		博物館の収蔵資料点数	点	35,850	35,972	36,644	37,031			40,000		
博物館		博物館の講座・教室の参加者数	人	3,194	2,970	3,000	3,776			3,400		
博物館		教育課程に位置付けた博物館活用の学校数	校	268	275	324	321			300		
文化芸術振興課		川越シティカレッジの開催【※平成24年度より川越大学間連携講座の開催】	回	5	6	6	2			6		

方向性	施策	担当課	指標	名	単	位	現在値 (H21)	H22	H23	H24	H25	H26	目標値	達成状況 及び傾向
								実績値	実績値	実績値	実績値	実績値		
Ⅲ	1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実	都市景観課	伝統的建造物の修理件数累計	件	34	38	41	46					55	
		文化財保護課	指定等文化財数	件	246	250	252	256					255	
		文化財保護課	河越館跡地の史跡公園整備率	%	30.4	30.4	30.4	30.4					78.0	
		文化財保護課	国指定史跡河越館跡史跡公園活用事業数累計	件	0	1	2	1					5	
		文化芸術振興課	若い世代の参加事業の取組	回	0	0	1	2					2	
		文化芸術振興課	文化芸術の支援	事業	4	5	6	7					5	
		美術館	教育普及ボランティアの活動実施	回	0	20	26	49					20	
		美術館	ジュニア アートスクエアの開催	回	0	9	12	12					12	
		美術館	市民ギャラリーの利用促進	週稼働	45	49	42	51					47	
		美術館	川越市立中学校美術部の祭典の開催	校	17	17	18	20					20	
		美術館	小中学生県特選美術作品展の開催	人	367	360	313	330					700	
		美術館	創作室の利用促進	稼働率 /%	46.6	44.0	43.0	43.9					65.0	
		文化芸術振興課	文化施設の利用者数	人	593,643	569,301	537,052	590,295					1,000,000	
Ⅳ	1 多文化共生と国際交流・協力の推進	国際文化交流課	国際交流センター利用人数	人	84	73	68	64					120	
		国際文化交流課	姉妹都市（海外）間の交流数	件	3	5	3	8					14	
Ⅴ	1 生涯スポーツの推進	スポーツ振興課	スポーツ実施率（成人の月1回以上のスポーツ実施率）	%	46.8		65.2	47.9					60	
		スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブの設置数	件	2	2	2	3					5	

(注) 達成状況及び傾向についての見方

指標の改善傾向	内 容
	現時点で目標が達成されている指標
	H23年度より改善が見られている指標
	H23年度より改善が見られていない指標 (数値の悪化・減少又は、変わらなかったもの)

Ⅷ 川越市教育振興基本計画 「施策評価総括表」

方向性	施策数	施策の 柱 数	総合評価内容				(施策の柱) 施策評価内容				細 施 策 数	(細施策) 施策評価内容			
			A	B	C	D	A	B	C	D		A	B	C	D
方向性 Ⅰ	2	20	6	14	0	0	6	14	0	0	53	14	37	2	0
方向性 Ⅱ	3	10	4	3	3	0	4	3	3	0	28	10	10	7	1
方向性 Ⅲ	1	4	2	2	0	0	2	2	0	0	14	5	8	1	0
方向性 Ⅳ	1	3	1	2	0	0	1	2	0	0	7	1	5	1	0
方向性 Ⅴ	1	2	0	2	0	0	0	2	0	0	4	0	4	0	0
合計	8	39	13	23	3	0	13	23	3	0	106	30	64	11	1

Ⅸ 川越市教育振興基本計画 「施策評価一覧」

方向性Ⅰ 生きる力を育む学校教育の推進

施策1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 確かな学力の育成	B	B	B ①学力向上対策の推進	12	教育指導課
			B ②市独自の少人数学級編制の推進	12	学校管理課
(2) 教育に関する3つの達成目標の推進	B	B	B ①学力（読む・書く・計算）向上の推進	14	教育指導課
			B ②規律ある態度の育成	14	
			B ③体力向上の推進	15	
(3) 校種間連携の推進	A	A	A ①小学校・中学校連携の推進	16	学校管理課
			B ②中学校・市立川越高等学校連携の推進	16	
			A ③幼稚園・保育園・小学校連携の推進	17	教育指導課
(4) 生徒指導の充実	A	A	B ①道徳教育の充実	18	教育指導課
			B ②いじめ・不登校対策の推進	18	
			A ③教育相談の充実	19	教育センター分室(リベール)
			A ④関係機関との連携事業	19	教育指導課
			A ⑤いきいき登校サポートプランの推進	20	教育センター分室(リベール)
(5) 進路指導・キャリア教育の充実	A	A	A ①地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実	21	教育指導課
(6) 科学体験活動の推進	A	A	A ①科学わくわくラーニングプログラム事業の推進	22	教育指導課
(7) 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進	B	B	B ①学校評議員制度の充実	23	学校管理課
			B ②地域人材活用事業の充実	23	
			B ③日本語指導ボランティアの充実	24	
(8) 教職員の資質向上	B	B	A ①経験・職能別研修の充実	25	教育センター
			B ②管理職等研修の充実	25	学校管理課
			B ③奨励研修の充実	26	教育センター
			B ④かわごえ異業種体験研修事業の推進	26	学校管理課
			B ⑤大学等進学指導力向上研修の推進	27	
(9) 特別支援教育の充実	B	B	B ①就学支援委員会の充実	28	教育センター分室(リベール)
			A ②一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実	28	
			B ③特別支援教育の理解・啓発の推進	29	
			B ④市立特別支援学校のセンター的機能の充実	29	
(10) 英語教育・外国語（英語）活動及び国際理解教育の推進	B	B	B ①英語指導助手（AET）の配置事業の充実	31	教育センター
			B ②小学校外国語活動の推進	31	
			B ③中学校英語教育の充実	32	
			B ④国際理解教育の推進	32	
(11) 情報教育の推進	B	B	B ①ICT教育の推進	34	教育センター
			A ②情報モラル教育の推進	34	
			B ③コンピュータ施設・設備の充実と活用	35	
(12) 読書活動の推進	B	B	B ①読書活動啓発推進事業	36	教育指導課
			A ②図書館司書による読書活動の推進	36	
			C ③図書館から学校への団体貸出の推進	37	
(13) 健康の保持増進と安全・体力向上の推進	B	B	A ①学校保健活動の推進	38	教育指導課
			B ②安全・安心の推進	38	
			B ③体力向上の推進	39	
(14) 学校の評価充実	B	B	B ①人事評価の充実	40	学校管理課
			B ②学校評価の充実	40	

Ⅸ 川越市教育振興基本計画 「施策評価一覧」

施策2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 学校施設の整備・充実	A	A	A ①学校施設の耐震化の推進	42	教育財務課
			B ②大規模改造工事等学校施設の整備の推進	42	
(2) 小・中学校の適正配置と通学区域の弾力化	B	B	B ①小・中学校の通学区域・規模等の検討	44	学校管理課
(3) 学校図書館の充実	A	A	A ①司書教諭・図書整理員の配置	45	教育指導課
			B ②蔵書の充実	45	
(4) 学校給食の充実	B	B	B ①食育の推進	47	教育指導課
			B ②給食内容の充実	47	学校給食課
			C ③学校給食施設の整備	48	
(5) 市立川越高等学校の改革・充実	B	B	B ①市立川越高等学校将来構想の検討と推進	49	市立川越高等学校
(6) 教育センターの充実	B	B	B ①教育センターの整備・開放の充実	50	教育センター
			B ②家庭・地域との連携研修の充実	50	

方向性Ⅱ 活力ある地域を創る生涯学習の推進

施策1 家庭・地域の教育力の向上					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 家庭への支援	A	A	A ①家庭教育の充実	52	地域教育支援課
			B ②学童保育の充実	52	教育財務課
(2) 地域の教育力の向上	A	A	B ①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備	54	地域教育支援課
			A ②学びを支援するシステムの整備	54	
			A ③社会教育関係団体への支援	55	

施策2 生涯にわたる学習活動の推進					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 生涯学習推進体制の確立	B	B	B ①生涯学習推進のための拠点施設設置	56	文化芸術振興課
			C ②社会教育職員研修の充実	56	地域教育支援課
(2) 多様な学習機会の創設	B	B	B ①学習情報の提供システム整備	58	文化芸術振興課
			B ②生涯学習に関する意識調査の実施	58	
			A ③町内公民館講座の開設支援	59	中央公民館
(3) 社会の変化に応じた学習機会の提供	A	A	A ①ライフステージにおける課題の学習	60	中央公民館
			B ②現代的課題の学習	60	
			A ③地域の教育活動を支援	61	
(4) 人権教育の充実	A	A	B ①学校教育における人権教育推進事業	62	地域教育支援課
			A ②人権啓発活動の推進	62	
			A ③人権教育指導者の養成	63	
			B ④関係機関・団体等との連携	63	

施策3 生涯学習環境の整備・充実					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 身近な学習施設としての公民館の整備・充実	C	C	C ①公民館の設置	65	地域教育支援課
			D ②既存公民館の整備・充実	65	中央公民館
(2) 図書館サービス網の整備・充実	C	C	C ①図書館サービス網の充実	67	中央図書館
			A ②図書館資料・情報提供サービス機能の充実	67	
			C ③図書館を活用した学習活動の推進	68	
(3) 博物館の整備・充実	B	B	B ①展示機能の充実	69	博物館
			B ②郷土資料の収集・保存	69	
			A ③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	70	
			C ④博物館・蔵造り資料館の整備	70	
(4) 高等教育機関等との連携・協働の推進	C	C	C ①川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座として開催)	72	文化芸術振興課
			C ②大学と連携した人材の育成	72	

Ⅷ 川越市教育振興基本計画 「施策評価一覧」

方向性Ⅲ 歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

施策1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用	B	B	B ①文化財の保護と活用	74	文化財保護課
			B ②文化財保護意識の啓発	74	
			B ③民俗文化財の保存と後継者の育成	75	
			B ④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	75	都市景観課
			A ⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業	76	文化財保護課
			B ⑥河越館跡地等の整備・活用	76	
(2)川越らしい文化芸術の振興	A	A	A ①連携・協働による新たな文化芸術の創造	78	文化芸術振興課
			A ②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	78	
			B ③特色ある文化芸術拠点の整備	79	文化芸術振興課・美術館
(3)文化芸術に触れる機会づくり	A	A	A ①文化芸術が身近にある環境づくり	80	美術館
			B ②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	80	
(4)文化芸術活動への支援と交流の促進	B	B	A ①文化芸術活動への支援	82	文化芸術振興課
			B ②文化芸術活動の場の整備	82	
			C ③文化交流の促進	83	文化芸術振興課・国際文化交流課

方向性Ⅳ 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策1 多文化共生と国際交流・協力の推進					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1)行政の国際化	A	A	A ①共生意識を醸成するための相互理解の推進	84	国際文化交流課
			B ②留学生の支援	84	
(2)国際感覚に優れた市民の育成	B	B	B ①人材の開発と育成	86	国際文化交流課
			B ②NGOなどとの協力と連携	86	
			C ③地域の国際化推進体制の整備	87	
(3)姉妹都市交流の更なる充実	B	B	B ①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化	88	国際文化交流課
			B ②新しい地域、都市との交流創出	88	

方向性Ⅴ 生涯スポーツの推進

施策1 生涯スポーツの推進					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1)スポーツ活動の推進	B	B	B ①総合型地域スポーツクラブの設置・育成	90	スポーツ振興課
			B ②スポーツ教室・大会等の充実	90	
(2)スポーツ環境基盤整備	B	B	B ①スポーツ指導者等の養成・活用	92	スポーツ振興課
			B ②スポーツ施設等の整備・充実	92	

※網掛け は文化スポーツ部
 ※網掛け は都市計画部

X 進行管理(点検評価) シート

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(1)確かな学力の育成			担当課	担当課評価
細 施策	①学力向上対策の推進			教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上検討委員会において、本市の児童生徒の学力の現状と課題を把握しながら新学習指導要領への対応を図ります。 ・児童生徒の家庭学習の習慣化や学力向上への具体的な取組を指導し、学力向上を推進していきます。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者、保護者・地域の代表、教育関係者で組織された学力向上検討委員会を3回開催しました。 ・過去3年間の取組について検証し、成果と課題を明確にするとともに、家庭学習の習慣化及び生活習慣の確立に向けた方策を検討しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	授業以外で1時間以上勉強する児童の割合(小学校5年生)(%)	43	37	40	
	授業以外で1時間以上勉強する生徒の割合(中学校2年生)(%)	49	51	53	
評価の理由	<p>学力向上アクションプランの周知や活用状況、教員や保護者の家庭学習に関する意識調査の結果を踏まえた方策をまとめ、ホームページで学校や家庭に発信したことにより、意識改革が図られ、概ね順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	<p>学校と家庭の連携強化を進めるため、昨年度のアンケート調査結果と先進校の取組を参考に啓発資料を作成し、児童生徒の学びの基盤となる「家庭学習の習慣化」を推進していきます。</p>				

施策の柱	(1)確かな学力の育成			担当課	担当課評価
細 施策	②市独自の少人数学級編制の推進			学校管理課	B
施策の内容	<p>国の35人学級編制の動向を踏まえ、個に応じた教育やよりきめ細かな授業等を目指し、市独自の少人数学級編制の推進を図ります。</p>				
平成24年度実績	<p>中学校1学年で1学級あたり概ね35人を超え、かつ県の少人数学級編制に該当しない中学校7校に、各1人の「少人数学級のための臨時講師(国語1人、社会1人、数学1人、理科2人、美術1人、音楽1人)」を配置しました。これにより、該当学年では1学級増え、1学級あたりの生徒数を少なくすることができました。</p>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	臨時講師配置状況(人)	6	9	7	
	対象校に配置した率(%)	100	90	70	
評価の理由	<p>学習指導や生徒指導等で、個に応じたきめ細かな指導ができたこと等、概ね順調に進ちよくしています。しかし、心の教育・学力の向上・いじめの未然防止、少人数学級編制等、各学校の課題に応じた配置等に問題があり、検討の必要があります。</p>				
改善の方策等	<p>学校における課題に応じて教員を配置し、生徒指導體制の充実や学力向上に向け、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進していきます。</p>				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱		(1) 確かな学力の育成			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学力向上対策の推進	教育指導課	B	B	B
	②市独自の少人数学級編制の推進	学校管理課	B		
学識経験者等 意見	<p>・埼玉県教育委員会との関係もあると思うが、学ぶ意欲の情意的側面の学力評価について意図的・計画的に今後も実施してもらいたい。</p> <p>・学力の向上やいじめの防止など色々な学校の課題があるが、学校課題に応じて教員の配置に努めていることは大いに評価できる。</p>				B

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(2)教育に関する3つの達成目標の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	①学力（読む・書く・計算）向上の推進			教育指導課	B
施策の内容	学習指導要領に基づき、読む・書く・計算の観点を中心に、子どもたちの学力の土台づくりを進め、小・中学校の連携を踏まえ家庭の協力を得た学力向上の推進を図ります。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上研修会を実施し、結果分析の仕方や研究資料の活用方法等について研修を進め、基礎的・基本的な学力内容を定着させました。 ・検証結果の分析プログラムを全小・中学校に配布し、各学校が自校の分析結果をもとに対応策を検討できるようにしました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	小学校「読む・書く」、「計算」達成率90%以上の項目(各学年2項目×6学年)	10項目／12項目	11項目／12項目	12項目／12項目	
	中学校「読む・書く」、「計算」達成率90%以上の項目(各学年2項目×3学年)	3項目／6項目	4項目／6項目	4項目／6項目	
評価の理由	各学校の学力向上策の中に「教育に関する3つの達成目標」を位置付けることで、多くの項目で「読む・書く」、「計算」の達成率が90%を上回るなど、概ね順調に進ちよしています。				
改善の方策等	「読む・書く」、「計算」等の基礎的・基本的な学習内容を活用する場を意図的・計画的にもたせて、学習内容の定着を図るなど指導法の工夫改善を図ります。				

施策の柱	(2)教育に関する3つの達成目標の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	②規律ある態度の育成			教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校における基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせます。 ・学校が家庭や地域と連携を密にし、思いやりや感謝の心、公共心、善悪を判断する力など、豊かな心を育みます。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各小・中学校においては校種間の連携を通して、学習の仕方や生活のきまり等について9年間を見通した生活習慣、学習習慣の定着に向けた取組を進めています。 ・「朝のあいさつ運動」についても多くの学校で定着が図られ、自校でのほりを作る等の積極的な取組を進めています。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	小学校・規律ある態度達成率80%以上の項目(各学年12項目×6学年)	58項目／72項目	65項目／72項目	69項目／72項目	
	中学校・規律ある態度達成率80%以上の項目(各学年12項目×3学年)	33項目／36項目	32項目／36項目	33項目／36項目	
評価の理由	児童生徒質問紙調査の結果、達成率が80%以上の項目数が増加しており、概ね順調に進ちよしています。				
改善の方策等	規律ある授業が学力の向上に関連があることを踏まえ、学校指導訪問等の機会を通して、各校の実態に即した取組を支援してまいります。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(2)教育に関する3つの達成目標の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	③体力向上の推進			教育指導課	B
施策の内容	豊かな人間性や生きる力の重要な要素である基礎的な体力を向上させるために、家庭や地域との連携を図りながら、児童生徒の発達段階に応じた効果的な体力向上の取組を充実します。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度川越市児童生徒体力向上推進委員会で、体力向上全体研修会や授業研究会を実施し、冊子「じゃんぷ」「川越市小・中学校新体力テスト一覧」を発行しました。 市内各学校の体力向上への取組をまとめ冊子として配布することで、市全体の体力向上に結びつくようにしました。 運動の特性に触れる体育・保健体育の授業の推進にあわせ、小学校の体力向上に関する取組(朝マラソンや休み時間を使った運動)や中学校の部活動が充実するように取り組みました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	前年度より結果のよい種目(小学校)	上体起こし・シャトルラン(男子)	上体起こし(男子)	反復横とび(男子) シャトルラン、50m走(女子)	
	前年度より結果のよい種目(中学校)	ボール投げ(男女) 50m走(男女)	50m走(男女) ボール投げ(男子)	上体起こし(男女)、長座体前屈(男女)、反復横とび(男女)	
評価の理由	運動する楽しさを重視した授業や朝マラソン等体力向上に係る取組が各学校の工夫のもとに展開されており、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	体育や保健体育の授業における運動量を確保し、朝会や休み時間を活用した業前・業間運動や体づくり運動を実施することで、家庭や地域で日頃からスポーツに親しむ習慣づくりなどに取り組みます。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(2)教育に関する3つの達成目標の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①学力(読む・書く・計算)向上の推進	教育指導課	B	B	
	②規律ある態度の育成	教育指導課	B		
③体力向上の推進	教育指導課	B			
学識経験者等	<ul style="list-style-type: none"> 最近の子どもたちは、考えて読んだり、考えて書いたりという考える力が伸びていないと感じるため、考える力をつける教育を行ってほしい。 体を動かすことに喜びを感じる工夫を考えてほしい。 				B

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(3)校種間連携の推進			担当課	担当課評価
細 施策	①小学校・中学校連携の推進			学校管理課	A
施策の内容	<p>・市内全小中学校を、8ブロックに分け、それぞれのブロックごとに小中学校間の連携を一層進めてまいります。</p> <p>・校長のリーダーシップのもと、教育委員会からも指導主事を配置するなどサポートをしながら、課題を明確にして各学校で行ってきた連携の取組の見直しや改善を図り、学校教育の一層の充実・活性化を図ります。</p>				
平成24年度実績	<p>各ブロックの研究委嘱校を中心に、教員間では小中合同授業研究会や研究協議を行い、系統的な学習指導についての協議を実施しました。児童生徒間では、中学校への1日体験入学や部活動による交流等が行われました。更に保護者・地域間では、地域の行事に児童生徒が参加することにより、地域に根ざした学校づくりを進めることができました。</p>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	中学1年生不登校者数(人)	35	45	27	
	中学1年生全体に占める不登校者数の割合(%)	1.00	1.34	0.95	
評価の理由	<p>各校から提出された実践報告書によると、成果の感じられた取組として、「教員に関わる連携」では合同研修会・連絡会が96%、授業公開・研究協議が95%、「児童生徒に関わる連携」では、ガイダンス・母校訪問等が89%と高い割合となっており、順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	<p>ブロック数やブロックを構成する学校の組み合わせを見直すことで、校種間連携を行う時間と場の工夫と体制づくりを進めます。</p>				

施策の柱	(3)校種間連携の推進			担当課	担当課評価
細 施策	②中学校・市立川越高等学校連携の推進			学校管理課	B
施策の内容	<p>・中学校と市立高等学校が一層連携し、双方の円滑な交流や相互理解、授業改善や教員の指導力向上に向けた取組を図ります。</p> <p>・「第二次市立川越高等学校将来構想懇話会」の報告結果を基に、中高一貫教育について調査研究を進めます。</p>				
平成24年度実績	<p>市立川越高等学校と近隣3中学校の平成24年度研究委嘱校間では、授業参観や研究協議、高校教員による中学校での出前授業、生徒相互の部活動交流等を実施しました。中学生による高校の体験授業では、学年全体で参加することが試みられ、連携が深められました。</p>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	教員・保護者間の交流活動件数(件)	14	23	16	
	生徒間の交流件数(件)	3	14	13	
評価の理由	<p>体験授業や部活動の相互交流や合同練習などが一層積極的に取り込まれ、教員の意識も高くなり、概ね順調に進ちよくしております。今後、より多くの市内各中学校との連携に拡大することが課題となっています。</p>				
改善の方策等	<p>系統的な学習指導・生徒指導・進路指導に生かす校種間連携となるよう、さまざまな取組を実施していきます。</p>				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(3)校種間連携の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	③幼稚園・保育園・小学校連携の推進			教育指導課	A
施策の内容	幼保小連絡懇談会を通して、幼稚園、保育園、小学校のそれぞれの役割の理解を深めるとともに、課題解決に向けた情報を共有するとともによりよい連携のあり方について話し合い、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を図ります。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連絡懇談会を6会場で実施しました。 ・研究テーマ「幼保小の連携の在り方」から更に視点を「食育」に絞ることで懇談会を活性化し、課題解決に向けた情報を共有しました。 ・各会場での記録を冊子にまとめ、関係者に配布するとともに、公民館等に閲覧用冊子を配布しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	参加園・校数	97	98	102	
	参加人数(人)	224	230	228	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連絡懇談会への参加が102の園・校に増加しました。 ・懇談会でのテーマを食育に絞ったことで話し合いが活性化し、小1プロブレム等の課題解決に向けた情報を共有するなど、順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	幼保小連絡懇談会の成果を各幼稚園・保育園・小学校の教職員へ周知し、今後も参加園・参加者の拡大を図り、幼保小の円滑な連携を図ります。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(3)校種間連携の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①小学校・中学校連携の推進	学校管理課	A	A	
	②中学校・市立川越高等学校連携の推進	学校管理課	B		
③幼稚園・保育園・小学校連携の推進	教育指導課	A			
学識経験者等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校連携については中1ギャップの解消に向けた取組として有効だと思っておりますので、今後も更に推進してもらいたい。 ・市立川越高等学校についても特色ある学校づくりをしてもらいたい。 				A

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(4)生徒指導の充実				担当課	担当課評価	
細 施 策	①道徳教育の充実				教育指導課	B	
施策の内容	豊かな心を育む道徳教育の一層の充実と道徳的実践力の向上を、学校の教育活動全体で推進します。						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育推進教師研修会を年2回実施しました。 ・学校訪問で公開授業を実施し、授業や分科会の協議を通して指導力の向上を図りました。 						
成果実績	項目名(単位)	H22		H23		H24	
	教育に関する3つの達成目標・規律ある態度「整理整頓・あいさつ・やさしい言葉づかい・集団の場での態度・清掃美化活動」達成率80%以上の項目(各学年5項目)	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
		26/30項目	15/15項目	29/30項目	14/15項目	29/30項目	14/15項目
評価の理由	道徳教育推進教師研修会や学校訪問等を通して、指導力の向上を図ることができ、概ね順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	道徳教育推進教師を中心とした校内組織を整備し、家庭・地域との連携した取組や道徳授業の充実を推進します。						

施策の柱	(4)生徒指導の充実				担当課	担当課評価	
細 施 策	②いじめ・不登校対策の推進				教育指導課	B	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校1年生で急増するいじめ・不登校問題の対応については、小中連携を中心とした校種間連携の中で取組を推進します。 ・いじめ・不登校対策検討委員会を通して、具体的な取組を推進します。 						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ未然防止対策については、各学校の相談体制、校内いじめ対策委員会、アンケート実施、児童生徒の活動などの進ちよく状況を毎月確認して取り組みました。 ・小中連携を中心とした校種間連携の中で定期的に学校訪問を実施することができました。 ・いじめ・不登校対策検討委員会を組織し、いじめや不登校問題の防止に向けた「教育相談アンケート」や「いじめ対応マニュアル」を作成しました。 						
指標及び説明	【指標】 中学校の不登校出現率			【説明】 市内全中学校の生徒数のうち不登校生徒数の割合			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	%	3.33	2.63	2.59	2.17		2.75
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携の推進や不登校傾向の見られる児童生徒に対し早期対応に努めることで、不登校の出現率が目標値を下回り、概ね順調に進ちよくしています。 ・いじめ未然防止に向けた取組を明確にすることで、各学校の取組の方向性が定まり、いじめ問題の早期発見・早期対応が図られました。 ・ネットパトロール及びいじめ相談電子窓口を実施しました。 						
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題の早期発見に向け、定期的に児童生徒アンケート及び保護者アンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応に万全を期してまいります。 ・川越市児童生徒連絡協議会と連携し、各学校の児童生徒が主体となったいじめ撲滅に向けた取組を推進してまいります。 ・校内いじめ対策委員会を更に積極的に実施・活用してまいります。 						

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(4)生徒指導の充実					担当課	担当課評価
細 施 策	③教育相談の充実					教育センター分室 (リバーラ)	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全中学校に配置している、さわやか相談員の活用を図り、不安や悩みを持つ生徒が相談しやすい教育相談体制を推進します。 ・スクールカウンセラーや教育センター分室(リバーラ)の臨床心理士など、専門的知識を有する人材を活用し、小学校の児童、保護者に対する教育相談体制の充実を図ります。 						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全中学校に1人ずつ配置したさわやか相談員が、小・中学生、その保護者等延べ9,860人の相談に対応しました。 ・週1回から3週間に1回の割合で配置されているスクールカウンセラーが、生徒やその保護者への面接、教職員への助言など、併せて7,414回の相談を行いました。 						
指標及び説明	【指標】さわやか相談員がかかわりを持ち、解決した割合			【説明】市内全中学校に配置したさわやか相談員が受けた相談件数のうち解決した(相談が終了した)件数の割合			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	%	66.8	82.9	84.0	84.2		75.0
評価の理由	さわやか相談員がいじめや不登校、学業や友人問題、家庭環境などの相談に応じ、解決した割合(相談が終了した)が目標値を上回る84.2%となり、順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	今後もさわやか相談員、スクールカウンセラーなどとの連携を深め、不安や悩みをもつ児童生徒やその保護者への教育相談体制の充実を図ります。						

施策の柱	(4)生徒指導の充実					担当課	担当課評価
細 施 策	④関係機関との連携事業					教育指導課	A
施策の内容	課題解決のために、教育センター分室(リバーラ)、市内こども安全課、児童相談所、警察署等の関係機関と連携し、情報交換や対応策を検討します。						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センターといじめ・不登校対策検討委員会を合同で組織し、問題解決のために協力して取り組みました。 ・児童相談所とは児童虐待の問題に対して、こども安全課と情報を共有するなど連携して対応しました。 ・児童生徒の問題行動等に対して、これまで以上に川越警察署生活安全課との連携を深め、学校の支援体制を整備しました。 ・スクールサポーターの配置を要請し、4校に配置されました。 ・学校・地域・警察関係者によるサポートチームが8校で組織されました。 						
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24			
	サポートチームの編成数(校)	3	6	8			
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会と川越警察署(生活安全課)の信頼関係を深め、児童生徒の問題等に対し教育委員会が各種調整を図ることで、学校と警察の連携がこれまで以上に円滑に進められ、順調に進ちよくしています。 ・関係機関等と積極的に連携し、迅速な対応が進められました。 						
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導に関する連携では、指導上配慮を要する児童生徒について事前に情報交換するなど、問題発生時のみの連携にならないようにします。 ・多様な生徒指導の問題への対応について、各学校の取組を集め指導の手立てを広めるなど、迅速に問題解決が図れるようにします。 ・各学校の実情に応じ、今後更に警察との連携を進め、学校と一体となった取組を行ってまいります。 						

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(4)生徒指導の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	⑤いきいき登校サポートプランの推進			教育センター分室 (リベール)	A
施策の内容	市内小中学校における不登校問題の解消に向けて、大学生による不登校児童生徒支援事業の「いきいき登校サポートプラン」を更に推進し、学校、専門家、地域が連携し、一体となった取組を進めます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度は、19人の学生に委嘱し、11人の学生が延べ163回の活動を行いました。 臨床心理士を週1日、年間45日、教育センター分室に配置し、特に配慮を要する難しいケースについてより専門的な対応を実施できました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	活動した学生 実人数(人)	9	13	11	
	活動回数 (回)	110	173	163	
評価の理由	活動した学生の人数が減っているのは、不登校生徒数の減少に伴い学校からの要請が減少したためです。また、大学生による不登校児童生徒支援により、教室への部分復帰を含め、学校復帰が図れた件数の割合が増加し、不登校問題の解消に向けて順調に進ちよしています。				
改善の方策等	関係の大学と連携し、大学生による不登校児童生徒支援を充実させるとともに、サポートプランへの取組をより活性化するために、各学校に活用の仕方について周知を図っていきます。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(4) 生徒指導の充実				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①道徳教育の充実	教育指導課	B	A	
	②いじめ・不登校対策の推進	教育指導課	B		
	③教育相談の充実	教育センター分室(リベール)	A		
	④関係機関との連携事業	教育指導課	A		
⑤いきいき登校サポートプランの推進	教育センター分室(リベール)	A			
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> 不登校対策では、①教員の加配、②地域ぐるみの生徒指導が効果があるため、力を入れてもらいたい。 インターネット利用は低年齢化しているため、小学校に対しても家庭教育学級などで啓発を行ってもらいたい。 いきいき登校サポートプランについては、大変素晴らしい取組であるため、今後も積極的に取り組んでもらいたい。 				A

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(5)進路指導・キャリア教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実			教育指導課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりを大切にされた進路指導・キャリア教育の一層の充実に努めます。 ・中学校では、地域にある事業所や公共施設での体験活動を通して川越市中中学生社会体験事業の充実を図ります。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導・キャリア教育研修会を実施し、小学校のキャリア教育の実践発表を行いました。 ・川越市中中学生社会体験を全校で実施し、終了後、今後の生活にどう生かすかについてのアンケート調査を実施し、結果を指導に活用しました。 ・川越市中中学生社会体験実施協議会を開催し、関係団体との連携を図り事業を円滑に運営することができました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	協力事業所数(箇所)	771	828	798	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・全校が計画通りに社会体験事業を実施することができました。 ・事後のアンケート調査によると、「働くことの大切さや意味を考える機会となった」「仕事をするために協力する大切さが理解できた」「社会のきまりを守る大切さを理解できた」「働くことの厳しさ大変さを知ることができた」「人の言うことをしっかり聞くことの大切さを理解することができた」の項目で、98%以上の生徒が肯定的な回答を示すなど、順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	社会体験の事後指導の中で、体験を今後の生活に生かす視点を取り入れるようにしていきます。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(5)進路指導・キャリア教育の充実				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
	①地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実	教育指導課	細施策	施策の柱	
			A	A	
学識経験者等 意見	特になし				A

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(6)科学体験活動の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	①科学わくわくラーニングプログラム事業の推進			教育指導課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年生を対象に、小学生科学体験事業を実施し、講演会、実験実習、科学施設の見学や体験活動の取組を充実します。 ・理科実験助手派遣事業、小・中・大学連携理科ふれあい事業を充実させ推進します。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生科学体験事業として、市内小学校6年生77人を対象に、1日目に講演会、2日目に実験・実習、3日目に日本科学未来館で体験学習を行いました。 ・理科実験助手派遣事業により、小学校においては7校に、中学校は希望校3校に理科実験助手を派遣しました。 ・小・中・大学連携理科ふれあい事業により、小学校11校・中学校3校が事業を実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	理科実験助手派遣事業派遣数(校)	10(小:7 中:3)	9(小:6 中:3)	10(小:7 中:3)	
	小・中・大学連携理科ふれあい事業(校)	10(小:9 中:1)	17(小:13 中:4)	14(小:11 中:3)	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・科学体験事業に参加した児童や小・中・大学連携理科ふれあい事業を実施した学校の児童生徒から、理科に対する興味・関心が高まったという感想が寄せられています。 ・理科実験助手事業もローテーションが進んでおり、科学体験活動は順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・科学体験事業や小・中・大学連携理科ふれあい事業において、大学や研究機関との連携を積極的に進め、理科に関する興味・関心を広げるようにします。 ・小学校に理科実験助手を計画的に派遣し、市内全校において教員の実験の準備や取組などのスキルを高められるようにします。 				

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(6) 科学体験活動の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①科学わくわくラーニングプログラム事業の推進	教育指導課	A	A	
学識経験者等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの理科に対する興味・関心が高まる対策をしてもらいたい。 ・科学わくわくラーニングプログラム事業は、大変特色があり、意義のある事業だと思うので、子どもたちの理科の学力を更に高める努力をしてもらいたい。 				A

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(7)地域に開かれた特色ある学校づくりの推進			担当課	担当課評価
細 施策	①学校評議員制度の充実			学校管理課	B
施策の内容	学校は、評議員に学校の現状と課題について情報提供を行い、情報の共有化を図るとともに、保護者や地域住民から信頼される学校経営ができるよう学校評議員制度の充実を図ります。				
平成24年度実績	学校の現状と課題に即して、積極的な意見交換のもと、活発な話し合いによる学校評議員会議が実施されています。特に各学校の学校評価において、学校評議員が学校関係者評価の構成員である割合が大きく、開かれた学校づくりに寄与していると考えられます。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	学校評議員が学校関係者になっている学校	56/56	55/56	55/56	
	学校評価の公表率	56/56	56/56	56/56	
評価の理由	すべての市立学校で、学校評議員が学校関係者評価における評価者になっており、学校経営に関わる情報の共有化が図られています。学校は、保護者や地域住民等の意識の把握、反映だけでなく、学校運営の状況等を周知するなど学校としての説明責任を果たしており、この制度の充実により、概ね順調に進ちよくしています。今後、更に結果を公表する場や機会を増やしていく必要があります。				
改善の方策等	各学校で教育活動等について計画的に自己評価を行い、その結果を公表するとともに、多様な意見を幅広く求め、学校運営に生かすために積極的な情報提供を行っていきます。				

施策の柱	(7)地域に開かれた特色ある学校づくりの推進			担当課	担当課評価
細 施策	②地域人材活用事業の充実			学校管理課	B
施策の内容	小・中・特別支援学校が、特色ある学校づくりを推進していくため、多様な体験活動が展開できるように関係団体や地域の方々と連携し、地域人材活用事業の一層の充実を図ります。				
平成24年度実績	特色ある学校づくり支援の報償金の範囲内で、活用実施数の上限を220回に設定したところ、活用実数は205回(対予定数93.2%)でした。学校教育に地域の教育力を用いることで単に技術的な指導にとどまらず、児童生徒の豊かな心を育むことができています。活用回数は昨年度より大幅に減少していますが、これは、日本語指導ボランティアの派遣回数が当初の予定より113回増えたことから、前年度までのようには地域人材の活用に予算を配分できなかったことによるものです。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	活用回数(回)	600	635	205	
評価の理由	各学校からは地域人材活用に対する期待が高く、活用回数を増やしたい意向です。しかしながら、日本語指導ボランティアの需要が高く、特色ある学校づくり支援の予算の範囲内で活用を増やすことは難しい状況でした。限られた回数で、各学校の実態に合った活動ができていた点では、十分な成果を上げられているといえます。				
改善の方策等	地域人材活用に対する報償金の支払い、日本語指導ボランティア及び学校評議員に対する報償金の執行状況を適時把握し、予算振り分けの見直し、修正を行います。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(7)地域に開かれた特色ある学校づくりの推進			担当課	担当課評価
細 施 策	③日本語指導ボランティアの充実			学校管理課	B
施策の内容	各学校に在籍する外国籍の児童生徒のうち、特に日本語指導が必要とされる児童生徒に対して、日本語指導ボランティアの派遣を推進し、日本語指導、学校生活への適応指導の支援など、日本語指導ボランティアの充実を図ります。				
平成24年度実績	平成24年度は、市立小中学校18校に在籍する外国籍の児童生徒で日本語指導ボランティアの申請があった37人中、14校28人に対してボランティア12人を週1～2回派遣しました。派遣回数は延べ597回でした。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	申請受付数(人)	37	27	37	
	日本語ボランティア派遣児童生徒数(人)	34	24	28	
評価の理由	日本語指導ボランティアを派遣することによって、該当児童生徒が授業内容の理解を深め、また、周囲とのコミュニケーションの手助けとなる援助と指導を行うことができ、概ね順調に進ちよくしています。しかし、申請された児童生徒すべてに対し日本語指導ボランティアを派遣できていないことや、児童生徒に必要とされる回数の派遣ができていないことが課題です。				
改善の方策等	今後、日本語指導を必要とする外国籍の児童生徒が増え、その母語の多様化によって求められる日本語指導ボランティアの言語も多様化していくことが予想されます。それに対応できるよう、効率的な派遣方法や人材確保のために関係機関との連携を図っていきます。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(7) 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①学校評議員制度の充実	学校管理課	B	B	
	②地域人材活用事業の充実	学校管理課	B		
③日本語指導ボランティアの充実	学校管理課	B			
				B	
学識経験者意見等	学校評価におけるアンケートの取り方や公表の仕方については、難しい面も備わっているため教育委員会による適切な指導・助言をお願いしたい。				

【方向性】 1 生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(8)教職員の資質向上					担当課	担当課評価
細 施 策	①経験・職能別研修の充実					教育センター	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の経験段階に応じて職務遂行に必要な知識・技能等の習得を図る経験者研修の充実を図ります。 ・教職員の職務に応じた知識・技能等の習得を図る職能別研修の充実を図ります。 						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・経験段階に応じた研修として、初任者研修、5年経験者研修、10年経験者研修、20年経験者研修等を計画的に実施しました。 ・職能別研修として、主幹教諭、教務主任、学校事務職員、栄養教諭・学校栄養教員、初任者研修拠点校指導教員、学校保健・道徳教育・特別支援教育・教育相談・学校図書館教育・情報教育・進路指導キャリア教育の各担当者、非常勤職員等を対象とした研修会を開催しました。 						
指標及び説明	【指標】 教職員の研修参加回数			【説明】 教職員一人が1年間に研修に参加する回数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)
	回	4.1	H22 4.4	H23 5.1	H24 5.2	H25 /	H26 /
評価の理由	研修内容の整理と研修体系の見直しを行いました。研修回数の実績値は、前年度と比べて増加しており、目標値を上回っており、順調に進ちよしています。						
改善の方策等	今後も経験者研修等、教職員のライフステージに応じた研修を重視し、経験に応じた資質・能力の向上を図っていきます。また、指導者や講師等についても今日的な教育課題に即した研修となるよう質の向上に努めます。						

施策の柱	(8)教職員の資質向上					担当課	担当課評価
細 施 策	②管理職等研修の充実					学校管理課	B
施策の内容	教育に対する理念や識見を高め、管理職としてのリーダーシップを発揮できるよう管理職等研修の充実を図ります。						
平成24年度実績	校長、教頭を対象とした研修会を実施しました(校長研修会、教頭研修会、一人ひとり大切に、信頼関係に立つ教育推進教頭研修会、校種間連携教育研修会)。						
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24			
	研修会の実施回数 (回)	21	21	20			
評価の理由	学校訪問における管理職ヒアリング、人事評価における校長ヒアリング等において、各学校の管理職が、学校経営・学校運営に関する理解を深め、地域社会から信頼される学校づくりを目指し、リーダーシップを発揮している様子を確認することができ、概ね順調に進ちよしています。特に、若手の教職員が増加する状況の中で、人材育成を重視しながら学校運営に取り組み成果をあげている学校があります。校長を補佐する教頭等が学校運営等に関する見識を高め、学校の組織力をより向上させてくことが今後の課題です。						
改善の方策等	今後は、各研修会の内容の改善を図るとともに、校長を助け補佐する教頭や主幹教諭を対象とした研修会の充実を図り、学校の組織マネジメント力をより強化していきます。						

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(8)教職員の資質向上			担当課	担当課評価
細 施 策	③奨励研修の充実			教育センター	B
施策の内容	教職員の資質向上を図るために、教職員自らが希望して参加できる奨励研修の充実を図ります。				
平成24年度実績	1年間で奨励研修に参加した教職員の人数は、延べ890人でした。研修内容の充実を図るため、大学教授をはじめ各分野における第一線の講師陣を迎え、より専門性の高い研修会を実施しました。また、下記実績数以外にも教職員の指導技術向上のため、年度当初計画以外の研修会を3講座計10回開催し、延べ232人が受講しました。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	講座数(回)	38	37	35	
	参加延べ人数(人)	815	914	890	
評価の理由	<p>教員のニーズや今日的な課題に即した内容の研修会を企画し、概ね順調に進ちよくしています。講座数及び人数の減少は、2講座を研修内容の重要性を考慮し、奨励研修から重点研修に移行し、該当者全員を対象とする研修(悉皆研修)に変更したためです。</p> <p>参加者による研修内容の評価(5段階評価)では、高い評価(平均4.6)を得るとともに、感想録等から参加者の意欲や意識の向上がみられました。</p>				
改善の方策等	川越市教職員のより一層の資質向上のため、今後も研修の内容について、いじめ問題、生徒指導、保護者対応など今日的な課題に対応した内容となるよう見直し、改善を図り、幅広い実践的指導力の向上を目指していきます。				

施策の柱	(8)教職員の資質向上			担当課	担当課評価
細 施 策	④かわごえ異業種体験研修事業の推進			学校管理課	B
施策の内容	教員以外の民間の職業を直接体験することにより、再度教育職を見直し、多面的で柔軟な教育指導ができる教員の育成を目指し、かわごえ異業種体験研修の推進を図ります。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度は9人の教員が異業種体験研修を行い、平成15年度から延べ95人が体験しています。 どの教員も、学校での児童生徒及び保護者との接し方、組織としての学校の在り方、学級経営などを新たな視点で見つめ直し、それを今後の教育活動に生かそうとする意欲を得ています。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	体験教員数(人)	10	10	9	
評価の理由	民間企業での職業体験は、教員がこれまでの自分の教育指導を見直し、学校及び学校教育の在り方を考え直すよい機会となっており、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	同様の研修が川越市立小学校・中学校10年経験者研修に位置づけられており、研修内容の見直しを進めてまいります。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(8)教職員の資質向上			担当課	担当課評価
細 施 策	⑤大学等進学指導力向上研修の推進			学校管理課	B
施策の内容	市立高等学校の教員を大学進学予備校や民間教育機関等の研修等に派遣し、学習指導力の向上を図るとともに、その成果を校内に波及させる大学等進学指導力向上研修の推進を図ります。				
平成24年度実績	平成24年度は、予備校における指導法の研修に地歴科(世界史)1講座、公民科(政治経済)1講座、英語科1講座に3人の教員が参加しました。その成果を教科会で報告し、授業における指導法の改善、進学補習の工夫等について共通理解を図り、組織的な取組として成果をあげました。 大学等の主な合格状況につきましても、東京工業大学、早稲田大学、明治大学等難関大学に複数合格するなど成果をあげました。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	延べ研修参加教員数(人)	13	16	19	
	全教員数に占める割合(%)	27.7	36.4	43.2	
評価の理由	研修に参加した教員数・割合は増加し、概ね順調に進ちよしておりますが、大学進学指導力の向上に直接関わる5教科(国・社・数・理・英)の教員が中心となって参加していることもあり、全教員数に占める割合は40%台にとどまっております。				
改善の方策等	今後も継続的に取り組み、教員数、割合の向上を図ります。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(8)教職員の資質向上				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①経験・職能別研修の充実	教育センター	A	B	
	②管理職等研修の充実	学校管理課	B		
	③奨励研修の充実	教育センター	B		
	④かわごえ異業種体験研修事業の推進	学校管理課	B		
⑤大学等進学指導力向上研修の推進	学校管理課	B			
学識経験者等意見	大学進学等の指導力を向上させるために研修の成果が発揮できるよう更に努めてもらいたい。				B

【方向性】 1 生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(9)特別支援教育の充実			担当課	担当課評価
細 施策	①就学支援委員会の充実			教育センター分室 (リベラ)	B
施策の内容	小・中学校への就学予定者及び小・中学校に在籍する児童生徒のうち、教育上特別な措置又は支援を必要とする者に対して、一人ひとりのニーズに応じた教育的診断を行い、就学の適正化を図るために、専門医、学識経験者、教育関係者、行政経験者で構成する就学支援委員会の充実を推進していきます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 就学支援が必要な児童生徒に対して、諸検査の実施や学校訪問による観察、就学前施設への聞き取りを通して、状況を的確に把握し就学先を判断しました。その際、情報収集に努め、再度諸検査を実施したり、更に聞き取りを行ったりしました。 判断と異なる就学先を希望する保護者に対しては、継続の相談を行い、適正な就学先を決定できるようにしました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	就学支援委員会実施回数(回)	28	29	29	
	臨時の就学相談回数(回)	22	49	46	
	就学相談実施人数(人)	218	223	243	
評価の理由	年々就学相談の実施人数が増加している中で、児童生徒についてできるだけ多くの情報収集に努め、適正な就学先を判断し、就学先の決定について継続の相談を行うことができたため概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数の増加に対応し、就学支援委員会の実施回数を見直す必要があります。今後、決められた日程の中で就学相談を行うように努めていきます。 就学相談を進めるにあたり、児童生徒の様子を適切に把握できるよう、就学前施設、小・中学校とより一層の連携を図ります。 				

施策の柱	(9)特別支援教育の充実			担当課	担当課評価
細 施策	②一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実			教育センター分室 (リベラ)	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーターを充実させるとともに、自立支援サポーターの活用を図り、通常学級における支援の推進に努めます。 通常の学級に在籍する軽度言語・聴覚障害や発達障害等のある子どもに対して、障害の程度に応じた指導を実施し支援の充実を図ります。 小・中学校に設置している特別支援学級の子ども一人ひとりの障害の特性等に配慮した指導・支援の充実に努めます。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 通常の学級に在籍する児童生徒の中で、学習障害(LD)・注意欠陥多動性障害(ADHD)・高機能自閉症等の発達障害があるなどの個別の支援を必要としている児童生徒数は、年々増加しており、各学校からの自立支援サポーターの申請数も増えています。 申請の出された学校には、各学校の実態に応じて1～3日の範囲で、全て自立支援サポーターを配置しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	対応した児童数(人)	427	465	561	
	対応した生徒数(人)	22	30	47	
評価の理由	各学校に配置された自立支援サポーターは、該当児童生徒に対して個別指導を行ったり、クラスの中に入って活動の助言、支援を行ったりなど、児童生徒との信頼関係を築きながら支援を行い、成果を上げており、順調に進ちよくしております。				
改善の方策等	自立支援サポーターには、特別支援教育支援員の研修会を通して、個別の支援を必要としている児童生徒の実態に応じた支援の方法を身に付けるようにします。教員に対しても個別の支援と全体への指導の仕方について研修する機会を設けていきます。				

【方向性】 1 生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(9)特別支援教育の充実			担当課		担当課評価	
細 施 策	③特別支援教育の理解・啓発の推進			教育センター分室 (リベール)		B	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある児童生徒理解のためのパンフレットを作成し、特別支援教育への理解と啓発の推進を図ります。 ・心のバリアフリーを育む交流及び共同学習等の充実を図り、ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進します。 						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「就学相談セミナー」「発達障害セミナー」に参加した方が、就学相談を希望し適切な就学先に決定することができました。セミナーを通して、保護者へ就学相談に関する情報を提供することができました。 ・特別支援学級の授業について関心のある保護者は多く、1校だけでなく、数校の公開授業を参観する保護者もいました。 						
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24			
	「就学相談セミナー」 「発達障害セミナー」 参加者(人)	12	30	16			
	特別支援学級授業 公開参観者(人)	235	308	302			
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーや特別支援学級の授業公開日を設けることで、市民に対して、特別支援教育を具体的に知り、理解してもらえたため、概ね順調に進ちよくしています。 ・授業公開を行うことで、教員が積極的に研修を重ね、指導の工夫を図る等、資質の向上につながりました。 						
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある児童生徒の保護者だけでなく、一般市民にも理解を得られるような広報活動を積極的に行います。 ・セミナーの内容については、参加する方のニーズに合わせて対応するなど、実態に応じた特別支援教育の理解と推進を図ります。 						

施策の柱	(9)特別支援教育の充実			担当課		担当課評価	
細 施 策	④市立特別支援学校のセンター的機能の充実			教育センター分室 (リベール)		B	
施策の内容	市立特別支援学校が、保護者に対する相談活動や小・中学校等へのセンター的な役割が担えるよう支援体制の整備を推進します。						
平成24年度実績	市立特別支援学校のセンター的機能に基づき、49件の相談、研修等に対応しました。 (内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面接相談 3件 ・特別な配慮が必要な児童生徒についての小・中学校への指導援助 17件 ・小・中学校における配慮が必要な児童生徒への支援に関する研修会の実施 27件 ・その他(ケース会議) 2件 						
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24			
	特別支援学校のセンター的機能による 対応数(件)	保護者	10	保護者	8	保護者	3
		学校	5	学校	13	学校	17
		研修	12	研修	25	研修	27
		その他	14	その他	2	その他	2
合計		41	合計	48	合計	49	
評価の理由	市立特別支援学校のセンター的機能を研修会等で紹介したことで、研修や小・中学校への対応件数が増加したため、概ね順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	市立特別支援学校のセンター的機能の役割や内容について、各市立学校に対し、更に周知を図ります。						

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱		(9) 特別支援教育の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①就学支援委員会の充実	教育センター分室(リベール)	B	B	B
	②一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実	教育センター分室(リベール)	A		
	③特別支援教育の理解・啓発の推進	教育センター分室(リベール)	B		
④市立特別支援学校のセンター的機能の充実	教育センター分室(リベール)	B			
学識経験者等 学意 見	特になし				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(10)英語教育・外国語(英語)活動及び国際理解教育の推進	担当課	担当課評価	
細 施 策	①英語指導助手(AET)の配置事業の充実	教育センター	B	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化の進展に対応し、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するため、小・中・市立高等学校及び特別支援学校に配置されている英語指導助手の充実・推進を図ります。 ・小学校での学級担任教員との英語活動や中・高等学校での英語担当教員との共同授業において、英語指導助手をより効果的に活用できる配置を進めていきます。 			
平成24年度実績	現地採用3人、KET2人、派遣契約16人の英語指導助手(AET)を配置しました。 <訪問実績> 英語指導助手(AET)21人 小学校704日 中学校 2,031日 市立川越高等学校 135日 合計 2,870日			
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24
	配置人数(人)	21	21	21
	1校あたりの年間訪問日数(日)	小51.4 中90.7	小24.0 中112.0	小22.0 中92.3
評価の理由	派遣会社の契約辞退により、当初の配置計画より訪問開始時期が遅れてしまいましたが、全市立学校への計画的な配置を進めることができ概ね順調に進ちよしています。			
改善の方策等	市内全学校の児童生徒の英語力の向上、国際理解教育の推進には、英語指導助手(AET)の人数を段階的に増やしていくとともに、指導力等の質の向上が不可欠です。派遣業務の業者選定方法を提案型方式に変更し、質の確保に努めます。			

施策の柱	(10)英語教育・外国語(英語)活動及び国際理解教育の推進	担当課	担当課評価	
細 施 策	②小学校外国語活動の推進	教育センター	B	
施策の内容	小学校5・6年生での外国語活動の時間に、英語ノートや川越市小学校外国語活動研究委員会が作成した資料を活用し、担任教師と英語指導助手が協力して、英語に親しむことのできる授業の充実・推進を図ります。			
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動では、英語を通じて言語や文化についての体験的な理解を含め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図りました。英語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる活動に取り組みました。 ・川越市小学校外国語活動研究委員会において、新教材Hi, friends!の指導案例や小中連携を目指した活動例などを作成しました。市内全小中学校に配布し、外国語活動を充実・推進するための資料としました。 			
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24
	AETの共同授業による1日平均授業時数(時間)	3.83	4.29	4.44
	小学校第5・6学年1学級当たりの英語指導助手(AET)の年間訪問回数(日)	9	4.8	4.09
評価の理由	小学校外国語活動でのAETの1日平均授業時数が、前年度に比べ増加し、より積極的な活用が図られている状況にありますので、概ね順調に進ちよしています。			
改善の方策等	外国語活動のより一層の充実及び国際理解教育等を図るため、更にAETの積極的な活用を図るとともに教員の指導力の向上を図る研修の充実に努めます。			

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(10)英語教育・外国語(英語)活動及び国際理解教育の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	③中学校英語教育の充実			教育センター	B
施策の内容	英語指導助手(AET)の効果的な活用、教員の指導力の向上を図り、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4技能のバランスを取りながら、体験的・実践的な英語教育の充実を推進していきます。				
平成24年度実績	中学校では、英語担当教諭と英語指導助手(AET)との共同授業を通して、言語の使用場面や言語の働きに配慮したコミュニケーション活動を充実させ、コミュニケーション能力の基礎・基本の定着を図れるよう、生徒が主体的に取り組む授業づくりを推進しました。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	AETの共同授業による1日平均授業時数(時間)	3.33	3.39	3.62	
評価の理由	前年度に比べ、1日当たりの英語指導助手(AET)の平均授業数が増え、各学校での共同授業が円滑に進められたため、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	学習指導要領の目標であるコミュニケーション能力の基礎・基本の定着を図るため、英語指導助手の積極的な活用を各学校に促すとともに教員の指導力向上を図る研修の充実に努めます。				

施策の柱	(10)英語教育・外国語(英語)活動及び国際理解教育の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	④国際理解教育の推進			教育センター	B
施策の内容	・外国籍の児童生徒のうち、特に日本語指導が必要とされる児童生徒に対して、日本語指導ボランティアの派遣を推進していきます。(再掲) ・国際理解教育の充実・推進を図ります。				
平成24年度実績	・日本語指導を必要とする外国籍の児童に46回の日本語指導を実施しました。 ・市立小、中、高、特別支援学校教諭を対象とした国際理解教育研修会を実施しました。 ・市立小学校を2つのブロックに分け、ブロックごとに1校が外国語活動の授業公開を行い、研究協議を行いました。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	国際理解教育研修会実施数(回)	3	3	3	
	参加延べ人数(人)	173	116	109	
評価の理由	全市立学校の教職員が国際理解教育に関する研修会に参加し、指導力の向上を図ることができ、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	国際理解教育推進のために外国語教育だけでなく、さまざまな面で国際理解教育が推進されるような研修会を計画していきます。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱		(10) 英語教育・外国語（英語）活動及び国際理解教育の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①英語指導助手(AET)の配置事業の充実	教育センター	B	B	B
	②小学校外国語活動の推進	教育センター	B		
	③中学校英語教育の充実	教育センター	B		
	④国際理解教育の推進	教育センター	B		
学識経験者等意見	英語教員のコミュニケーション能力を身に付けるためのスキルアップ研修の導入を検討してもらいたい。				

【方向性】 I 生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(11)情報教育の推進					担当課	担当課評価
細 施策	①ICT教育の推進					教育センター	B
施策の内容	児童生徒がコンピュータやインターネット等のICTを活用し、情報の収集・活用・発信という主体的な学習ができるよう推進します。						
平成24年度実績	小学校・中学校の授業におけるICT(情報通信技術)活用回数は、それぞれ平成23年度36.8回、25.4回から平成24年度34.1回、40.2回となり、小学校では減少しましたが、中学校では大きく増加しており、全体としては昨年度より増加しています。また、全小学校導入のデジタル教科書の活用により、授業でのデジタル教科書活用回数は、平成23年度の1校あたり78回に対して平成24年度は110回となり、増加しています。						
指標及び説明	【指標】 授業におけるICT(情報通信技術)活用授業回数			【説明】 市内全小学校のうち1学級当たり1年間にICT(情報通信技術)を活用した授業の実施回数			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	回	28	32.2	36.8	34.1		35
評価の理由	授業におけるICT活用授業回数の実績値は前年度に比べて減少したが、目標値に対して達成度は高くなっており、概ね順調に進ちよしています。						
改善の方策等	教職員一人ひとりの能力や適性にあった研修会を計画的に実施し、ICT活用の実践例や効果を実感してもらうことにより、児童生徒への授業での一層の活用を図っていきます。						

施策の柱	(11)情報教育の推進					担当課	担当課評価
細 施策	②情報モラル教育の推進					教育センター	A
施策の内容	児童生徒の情報の安全管理や情報モラル等の育成を一層推進するために、情報教育推進委員会、管理職や情報化推進リーダー等を対象にした情報モラル教育の研修を体系的に推進します。						
平成24年度実績	情報モラル教育に関しては、小学校では主に総合的な学習の時間で実施しています。中学校では、技術家庭科(技術分野)の年間指導計画に全校位置付けています。また、小・中学校の道徳教育全体計画への位置付けは、小学校16校、中学校5校でした。情報モラル指導の授業での実施回数は、平成23年度は1校あたり小学校で19.9回、中学校で19.2回だったのに対し、平成24年度は、小学校で25.8回、中学校で20.9回に増加しました。						
指標及び説明	【指標】 情報モラルに関する指導ができる教員の割合(文部科学省及び川越市独自調査)			【説明】 市内全中学校の教員のうち情報モラルに関する指導ができる教員の割合			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	%/校	66	75	76	77		80
評価の理由	情報モラルに関する指導ができる教員の割合が、現在値と比べ増加しており、進ちよ状況としては、平成22年度から順調に進ちよしております。						
改善の方策等	道徳教育全体計画及び年間指導計画への位置付けを今後も徹底して行います。また、教育センター主催の情報モラル教育に関する研修会等を通して、教職員の情報モラルに関する指導力の一層の向上を図ります。						

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(11)情報教育の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	③コンピュータ施設・設備の充実と活用			教育センター	B
施策の内容	小・中学校に設置されている教育用コンピュータの活用を図るため電子黒板やプロジェクター等の周辺機器を更に充実し、コンピュータ施設・設備の充実と活用を図ります。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の更なる活用を図るため、小学校6校の教育用コンピュータと周辺機器の入替と携帯型電子黒板を小・中学校38校へ追加導入し、普通教室でICT(情報通信技術)を活用した授業を行う環境を整備しました。 ・情報機器の基本的な操作を身に付けさせるため、教育センターにおいて、デジタル教科書操作研修会や電子黒板操作研修会を実施しました。デジタル教科書と電子黒板操作研修会参加者が、平成23年度34人から平成24年度122人へと88人増加しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	校務にICTを活用できる小学校教員の割合(%)	95.5	96.5	96.0	
	校務にICTを活用できる中学校教員の割合(%)	94.8	94.4	95.5	
評価の理由	校務にICTを活用できる小学校・中学校教員の割合が95%を超えています。学校により差がありますが、中学校では1.1ポイントの伸びが見られました。進ちよく状況は、概ね順調です。				
改善の方策等	小学校24校の教育用コンピュータ(23校20台、1校40台)と周辺機器、小・中学校全校の校務用パソコン(各校1台)と周辺機器の入替をし、学習活動における教育活動の質の向上を図ります。円滑に活用が図られるよう、教育用パソコン入替校を中心に操作研修会や技能に応じた研修会を実施します。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(11)情報教育の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①ICT教育の推進	教育センター	B	B	
	②情報モラル教育の推進	教育センター	A		
③コンピュータ施設・設備の充実と活用	教育センター	B			
学識経験者意見等	情報モラルの欠如が、どういった結果を引き起こすか子どもや家庭への周知を徹底してもらいたい。				B

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(12)読書活動の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	①読書活動啓発推進事業			教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 小学生には「小江戸読書マラソン」の取組、中学生には「小江戸中学生読書手帳」の活用を通して、児童生徒の読書活動を推進します。 家庭には読書活動啓発リーフレットを保護者に配布し、家庭における読書活動の啓発に努めます。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 小学生には「小江戸読書マラソン」を配布し、意欲的な読書活動が進められるようにしました。 中学生には「小江戸中学生読書手帳」を配布し、生徒の興味・関心を踏まえ、取り上げる本を見直すなど内容を改善しました。 家庭用に保護者に対して読書活動啓発リーフレットを作成し、配布しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	小学校における年間平均読書冊数(冊)	49.6	52.5	48.9	
	中学生読書手帳に記入された平均読書数(冊)	10.2	9.7	10.5	
評価の理由	「小江戸読書マラソン」「小江戸中学生読書手帳」を活用等により、児童生徒の読書活動の推進は概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書の質と量を含めた学校図書館の充実を図ります。 「小江戸読書マラソン」や「小江戸中学生読書手帳」について、研修会等を通じてより積極的な活用を促すなど、読書活動の推進に取り組みます。 				

施策の柱	(12)読書活動の推進			担当課	担当課評価		
細 施 策	②図書館司書による読書活動の推進			中央図書館	A		
施策の内容	図書や図書館への興味・関心を持ってもらうため、図書館司書の学校訪問等を通じ、読書活動の推進に努めます。						
平成24年度実績	全市立小学校3年生の各学級を訪問・招待し、本の紹介を行いました。						
指標及び説明	【指標】 図書館司書による学校訪問等の回数(校数)			【説明】 市立小学校3年生の各学級を対象に本の紹介などを行う			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	回	20	32	32	32		32
校	20	32	32	32		32	
評価の理由	図書館司書による全市立学校訪問等により、児童生徒の読書活動が推進されており、順調に進ちよくしております。						
改善の方策等	市立小学校3年生の各学級を訪問・招待し、本の紹介などを行います。						

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(12)読書活動の推進					担当課	担当課評価
細 施 策	③図書館から学校への団体貸出の推進					中央図書館	C
施策の内容	児童生徒たちの読書要求に応えるため、市立図書館から学校への団体貸出を推進します。						
平成24年度実績	児童生徒たちへ「テーマ」に沿った図書を市内小学校21校に延べ72回、4,835冊、中学校4校に延べ5回、224冊貸出しました。						
指標及び説明	【指標】 学校への団体貸出数			【説明】 市内小中高校の各学級を対象に100冊を上限に1ヶ月間貸出する冊数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	冊	5,725	6,886	5,158	5,059		8,000
評価の理由	小学校への貸出冊数は4,835冊で平成23年度(4,543冊)と比べて約6%増でしたが、中学校への貸出冊数は224冊で平成23年度(615冊)と比べて約60%減でした。このため、小・中学校の合計としては、平成23年度と比べて約2%減となり、あまり順調ではありません。						
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高校の先生たちに事業のPRをします。 ・児童生徒たちの読書要求に応える図書を紹介します。 						

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(12)読書活動の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①読書活動啓発推進事業	教育指導課	B	B	
	②図書館司書による読書活動の推進	中央図書館	A		
③図書館から学校への団体貸出の推進	中央図書館	C			
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> ・小江戸読書マラソンや小江戸中学生読書手帳などは、読書のモチベーションを高めるよい取組だと思うので、今後も読書活動の推進を図ってもらいたい。 ・読書するためには時間が必要であるため、時間を有効に割り振る指導を行うことが読書の啓発にもつながる。 				B

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(13)健康の保持増進と安全・体力向上の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	①学校保健活動の推進			教育指導課	A
施策の内容	学校・家庭・地域との連携を図りながら、健康診断や学校環境衛生活動等の保健管理の徹底に努めるとともに、歯・口の健康づくりや薬物乱用防止教育・性に関する教育等の保健教育や学校保健活動を推進します。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における定期健康診断等を実施しました。 ・学校環境衛生検査として飲料水検査、プール水検査、学校環境衛生検査、ホルムアルデヒド及び揮発性物質検査、砂場の細菌検査、ダニ・アレルゲン検査を実施しました。問題があった場合は、指導により改善を図りました。 ・放射性物質への対応として、プール水の検査の他、空間放射線量の測定を実施しました。 ・歯・口の健康づくりや性に関する教育等は、学習指導要領に基づき適切に実施しました。 ・薬物乱用防止教育においては、薬物乱用防止教室を全校で実施し、健全な心身の育成に向けた取組をしました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	薬物乱用防止教室の実施状況	全校実施 (小32 中22 高1 特1)	全校実施 (小32 中22 高1 特1)	全校実施 (小32 中22 高1 特1)	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての検査等を適切に実施し、問題のあった場合は改善を指導し、再検査等で状況を確認しています。 ・全校で児童生徒の発達段階に応じた薬物乱用防止の指導を実施するなど順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患への対応等、新たな課題に取り組み、衛生的で安全な学習環境を維持します。 ・薬物乱用防止教育を更に充実させ、児童生徒の健全な心身の育成に取り組みます。 				

施策の柱	(13)健康の保持増進と安全・体力向上の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	②安全・安心の推進			教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、地域の実態に応じた安全教育、安全指導を推進します。 ・登下校等における児童生徒の安全確保のための通学路の安全点検、スクールガード・リーダーの配置、地域ボランティアによるパトロール等、地域及び関係機関等との連携を図り、安全・安心の取組を推進します。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガード・リーダー養成講習会を実施しました。 ・各学校に通学路点検の指示をし、改善要望をとりまとめ、防犯交通安全課に提出しました。 ・青色回転灯パトロールカーによる市内の巡回を41回実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	スクールガード・リーダー養成講習会参加者数(人)	99	107	114	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校全校にスクールガード・リーダーを委嘱しました。 ・関係課との連携により通学路の整備が進められ、概ね順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の交通事故の原因は、歩行時の飛び出しや自転車による運転の問題が多く、重大な事故につながらないよう、交通安全の指導を継続的に実施します。 ・学校からの要望書を受け、関係課と連携することで、危険箇所の把握及び改善をより速やかに進めてまいります。 				

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(13)健康の保持増進と安全・体力向上の推進					担当課	担当課評価
細 施 策	③体力向上の推進					教育指導課	B
施策の内容	「川越市児童生徒体力向上推進委員会」の取組や、近隣の大学との連携による「トップアスリートふれあい事業」の実施を通して、児童生徒の体力向上の推進に取り組みます。						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「川越市児童生徒体力向上推進委員会」を開催し、「じゃんぷ」「川越市小・中学校新体力テスト一覧」を発行しました。 ・「トップアスリートふれあい事業」により、東洋大学、城西大学と連携し、駅伝部のコーチ・学生を市立小学校6校に派遣し、1,794人の児童が参加しました。 ・市立全小中学校で新体力テストを実施し、結果をまとめ、体力向上の推進を図りました。 						
指標及び説明	【指標】 新体力テスト総合評価(5段階)で3段階以上の割合			【説明】 市内全中学校生徒の新体力テスト総合評価基準表の上位3段階生徒の割合			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	
	%	82.6	83.2	83.7	85		90.0
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・「トップアスリートふれあい事業」については、第一線で活躍する大学生の走りを体感することにより、児童の走る意欲が高められました。 ・市内全中学校生徒の新体力テスト総合評価基準表の上位3段階生徒の割合は、平成21年度以降増加しており、概ね順調に進ちよくしています。 						
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で実施した新体力テストの分析により、「握力」「立ち幅とび」「ボール投げ」を体力重点課題とし、全体的な体力向上に向け、学校生活や授業の改善に取り組みます。 ・川越市児童生徒体力向上推進委員会により、効果的な指導方法を研究します。また、小中の連携により、9年間を見通した体力向上に取り組みます。 						

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(13)健康の保持増進と安全・体力向上の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①学校保健活動の推進	教育指導課	A	B	
	②安全・安心の推進	教育指導課	B		
③体力向上の推進	教育指導課	B			
学識経験者意見等	トップアスリートふれあい事業は、特色ある事業であるため小学校だけでなく中学校への実施も検討してもらいたい。				B

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(14)学校の評価充実			担当課	担当課評価
細 施策	①人事評価の充実			学校管理課	B
施策の内容	教職員人事評価システムを有効に活用し、教職員の資質・能力の向上を図るとともに、校長を中心とする学校組織の活性化や人事評価の充実を目指します。				
平成24年度実績	年度当初に個々に掲げた目標について、面談を重ね、達成状況や職務遂行の過程で発揮された能力、執務姿勢を総合的に評価し、資質向上を図りました。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	校長に対する年間面談回数(回)	168	168	168	
	教職員に対する年間面談回数(回)	5,036	4,980	4,896	
評価の理由	「埼玉県市町村立学校職員の人事評価に関する規則」及び「埼玉県市町村立学校職員の人事評価実施要領」に基づき、各学校で設定した目指す学校像と重点目標を踏まえて達成目標を策定し、自己評価と評価者評価を通して、教職員の資質・能力の向上に活用され、概ね順調に進ちよくしています。課題であった中心化傾向がやや改善されました。				
改善の方策等	年度当初面談を通し、目標設定における困難度の設定のあり方に十分留意させ、よりメリハリのある評価ができるよう人事評価についての説明時等を活用して指導を続けていきます。				

施策の柱	(14)学校の評価充実			担当課	担当課評価
細 施策	②学校評価の充実			学校管理課	B
施策の内容	PDCAサイクルによる学校の自己評価、外部アンケート等の実施、学校関係者評価などを通して、教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と充実を目指します。				
平成24年度実績	各学校が、外部アンケート等を積極的に活用し自己評価を行い、更に学校に関係するPTAや地域住民、学校評議員等による学校関係者評価を通して課題や改善点を整理し、学校運営改善に活用しています。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	「自己評価」におけるA評価の割合(%)	25.6	31.4	31.1	
	「学校関係者評価」におけるA評価の割合(%)	39.7	51.9	51.6	
評価の理由	各学校が、自己評価における評価理由及び改善策を学校関係者に提示し、その後、学校関係者評価を実施し意見を伺っており、概ね順調に進ちよくしています。しかし、評価項目によっては具体性に欠けるものが見られました。				
改善の方策等	自己評価や学校関係者評価を受けて、全職員が共通認識を持って課題の解決が図れるよう、研修会を実施する等、学校に対して指導していきます。併せてわかりやすく成果がつかめるような具体的な評価項目を設定するよう説明時等を利用して指導していきます。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱		(14) 学校の評価充実				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価	
			細施策	施策の柱		
	①人事評価の充実	学校管理課	B	B		B
	②学校評価の充実	学校管理課	B			
学識経験者等 学意見	特になし					

【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(1)学校施設の整備・充実					担当課	担当課評価
細 施 策	①学校施設の耐震化の推進					教育財務課	A
施策の内容	学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害発生時には地域住民の避難場所となるなど重要な役割を担っていることから、学校施設の耐震化に向け耐震補強工事を計画的に取り組みます。						
平成24年度実績	・耐震補強工事を実施(小学校1校 中学校5校)						
指標及び説明	【指標】 学校施設の耐震化の推進				【説明】 市内のすべての公立小中学校の耐震化の割合		
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	%	63	76	93	100		100
評価の理由	平成24年度を完了年度とした「川越市小中学校耐震化推進計画」に基づき、全学校施設の耐震化が完了しました。						
改善の方策等	平成24年度に全学校施設の耐震化が完了しました。						

施策の柱	(1)学校施設の整備・充実					担当課	担当課評価
細 施 策	②大規模改造工事等学校施設の整備の推進					教育財務課	B
施策の内容	学校施設設備の老朽化した部分等の緊急性や必要性などを検討し、建物の耐久性の向上を図るため大規模改造工事等計画的な施設・設備の整備を進めていきます。						
平成24年度実績	・大規模改造工事設計業務委託を実施(小学校2校 中学校2校) ・体育館の耐震補強工事に併せて大規模改造工事を実施(中学校1校)						
指標及び説明	【指標】 大規模改造工事の推進				【説明】 市内のすべての公立小中学校の大規模改造工事の実施割合		
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	%	44	52	54	55		59
評価の理由	平成23年度に策定した「川越市小中学校大規模改造計画」に基づき、大規模改造工事設計業務委託を実施しました。また、体育館の耐震補強工事に併せて大規模改造工事を中学校1校にて実施したので、概ね順調に進捗よくしています。						
改善の方策等	学校施設の耐久性の向上、施設の機能改善、教育環境の改善を図るため、「川越市小中学校大規模改造計画」に基づき、大規模改造工事を進めてまいります。						

【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱		(1) 学校施設の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学校施設の耐震化の推進	教育財務課	A	A	A
	②大規模改造工事等学校施設の整備の推進	教育財務課	B		
学識経験者等 学意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の耐震化については円滑に進み、平成24年度に完了したことを大いに評価したい。 ・学校トイレについては、洋式化を計画的に進めてもらいたい。 				A

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(2)小・中学校の適正配置と通学区域の弾力化			担当課	担当課評価
細 施 策	①小・中学校の通学区域・規模等の検討			学校管理課	B
施策の内容	今後の川越市立小中学校の在り方検討委員会において、「通学区域に関すること」、「余裕教室の活用に関すること」、「今後の望ましい学校数(学校の統廃合や存続等)に関すること」、「その他」の視点で検討し、将来にわたり適正な小中学校の通学区域・規模等を調査研究していきます。				
平成24年度実績	川越市立小中学校の在り方検討委員会を開催し、通学区制度の弾力的運用の適正な運用を図るため、指定校変更・区域外就学許可基準の公表について協議しました。また、今後の児童数(学級数)の推移について協議しました。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	小中学校の在り方検討委員会等開催回数(回)	1	1	6	
	検討内容	余裕教室の活用に関すること	指定校変更、区域外就学について	指定校変更、区域外就学許可基準の公表、施設整備	
評価の理由	「通学区域に関すること」において、指定校変更や区域外通学の内容の見直しと許可基準の公表について検討を進め、許可基準を市ホームページで公表することができました。また、今後学級数の増加が見込まれる地区における施設整備に係る検討を進めることができしており、概ね順調に進ちよしています。				
改善の方策等	児童生徒数の増減に伴う小中学校の在り方については、地域により状況がさまざまであり、それぞれへの対応について引き続き検討することが必要です。今後も、児童生徒数の推移を把握するとともに、大型集合住宅の建設や大規模地域開発の予定の把握に努め、他部署と連携しながら更に検討を進めていきます。				

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(2)小・中学校の適正配置と通学区域の弾力化				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①小・中学校の通学区域・規模等の検討	学校管理課	B	B	
学識経験者等	児童生徒数の増減に伴う小中学校の在り方については、特に南古谷地区の児童が多くなり、南古谷小学校や牛子小学校が飽和状態になっているため、計画的に進めてもらいたい。				B

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(3)学校図書館の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①司書教諭・図書整理員の配置			教育指導課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭・図書整理員の配置により、学校図書館経営の充実を図り、学校図書館を活用した学習指導を一層推進します。 ・司書教諭や図書整理員の研修等を通して読書好きの児童生徒を増やし、子どもの読書活動を活発にするために、司書教諭や図書整理員の研修等を通して、創意工夫をこらした学校図書館の中で、子どもの読書活動が充実するように努めます。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭、図書整理員とも全校に配置しました。(図書整理員は30人を複数校配置で対応) ・子ども読書活動推進研修会を実施し、司書教諭を中心に児童生徒の読書活動推進のための研修を実施しました。 ・魅力ある学校図書館をつくる図書整理員研修会を年4回実施し、学校図書館の充実を図りました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	学校図書館の貸出数(小学校)(冊)	377,340	380,856	417,968	
	学校図書館の貸出数(中学校)(冊)	25,579	29,621	42,407	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会を通して、司書教諭・図書整理員の職務内容の充実が図られました。 ・計画的な研修により学校図書館の整備と活用が促進され、貸出冊数も増加しており、順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	「全校一斉朝読書」など読書活動の時間を設けたり、教科の指導等で学校図書館の利用を促進し、生徒が本に触れる機会を増やします。				

施策の柱	(3)学校図書館の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②蔵書の充実			教育指導課	B
施策の内容	学校教育の中で、学校図書館の活用の充実が図れるよう、子どもの要望に応じた図書や豊かな心を育てるための図書を計画的に購入し、蔵書の充実に努めます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校に適切に予算を配当し、計画的に図書を購入しました。 ・調べ学習や発展的な学習に活用できる本や児童生徒の興味・関心の高い本を計画的に購入し、学校図書館の環境整備を図りました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	図書標準の達成率(小学校)(%)	70.6	74.8	78.0	
	図書標準の達成率(中学校)(%)	82.3	85.7	90.8	
評価の理由	図書の計画的な購入により、図書標準の達成率は向上しており、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	計画的な図書の購入と適切な蔵書の入替により、蔵書の量的確保とともに質的向上が図れるよう整備を進めます。				

【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱		(3) 学校図書館の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①司書教諭・図書整理員の配置	教育指導課	A	A	A
	②蔵書の充実	教育指導課	B		
学識経験者等 学意見	児童生徒の年間貸出冊数が増えるような取組・工夫を行って欲しい。				

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(4)学校給食の充実			担当課	担当課評価
細 施策	①食育の推進			教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るために、学校給食を通じた食に関する指導に加え、教科等と連携した食に関する指導の推進に努めます。 ・効果的な食に関する指導を推進するため、栄養教諭制度等の指導体制の整備を推進するとともに、学校、家庭、地域への啓発、情報提供など、連携した取組を目指します。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭において、食に関する指導、意義、役割等について理解を深め、家庭での実践に生かすために「朝食欠食ゼロキャンペーン」を市内小中学校全校で実施しました。 ・「食に関する指導法研修会」を、栄養教諭・学校栄養教員研修会と合同で実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	必ず朝食をとる割合(小5)(%)	91.0	89.7	89.5	
	必ず朝食をとる割合(中2)(%)	82.6	83.8	83.3	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の時間や家庭科等の授業で、バランスのよい食事や地産地消等の考え方を学習する時間が増えてきています。 ・各学校において食育における年間指導計画を踏まえた指導を行っており、概ね順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県の「早寝、早起き、朝ご飯」の運動を推進します。 ・食育についての研修を今後も計画的に実施します。 				

施策の柱	(4)学校給食の充実			担当課	担当課評価		
細 施策	②給食内容の充実			学校給食課	B		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心でおいしい給食を提供するため、栄養的にバランスの取れた給食を提供し、児童生徒の健康の増進や体力の向上を目指します。 ・学校給食で使用する食材の安全確保に努めるとともに、地場産物の使用拡大に努めます。 						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における摂取基準に基づいた学校給食を小学校・中学校で190回実施しました。 ・農産物等の産地証明、残留農薬証明等を求め、給食材料の安全性を確保しました。 ・地産地消の考えから主食米については、川越産米約235t、野菜については約77t(17品目)使用しました。 ・食材について、毎日3品目程度と給食1食分の放射性物質検査を実施しました。 						
指標及び説明	【指標】 学校給食における地場産物の使用拡大		【説明】 学校給食への川越産野菜使用割合				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
	%	19.3	H22	H23	H24	H25	H26
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場の暑さの関係で、地場産の生産量に影響がありましたが、目標値に近い割合で地場産を使用することができているため、概ね順調に進ちよくしています。 ・食材の安全性を確保するため、放射性物質の検査機器を購入し、検査回数や品目を増やし、独自に検査を実施しました。 						
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産農産物の利用を増やしていくため、地場産物を生かした献立や、収穫期に合わせた献立等、地場産物を積極的に取り入れる方法を検討していきます。 ・食材の安全性確保のため、引き続き放射性物質の検査を実施していきます。 						

【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(4)学校給食の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	③学校給食施設の整備			学校給食課	C
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・藤間学校給食センターと吉田学校給食センターは老朽化が進んでいるため、施設の更新を計画的に推進していきます。 ・学校給食の安全性の向上を図るため、調理場のドライ化を推進します。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)川越市学校給食センター整備運営事業基本計画案策定支援等業務を実施しました。 ・今成学校給食センター調理室空調設備改修工事を実施しました。 ・各学校給食センターの維持管理のため、優先度をつけて修繕を実施しました。 ・調理場のドライ化を推進し、学校給食の安全性の向上を図りました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	改修工事	洗浄室空調設備改修工事(今成)	揚物機等改修工事(今成),重油タンク設置等工事(藤間)	調理室空調設備改修工事(今成)	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の更新については、付加機能等の検討が多くあったことから、基本計画案の策定には至りませんでした。 ・改修工事は少しずつ進んでいます。 ・維持管理のための修繕は、緊急対応の修繕が多く発生したことにより、十分に実施されていないことから、全体的にはあまり順調ではありません。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急修繕以外のものは計画的に維持管理のための修繕を実施します。 ・藤間学校給食センターと吉田学校給食センターの更新については、PFIの実施も含め、基本計画案を策定します。 				

【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(4) 学校給食の充実				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①食育の推進	教育指導課	B	B	
	②給食内容の充実	学校給食課	B		
③学校給食施設の整備	学校給食課	C			
学識経験者意見等	世の中には色々な食品が出回っており、子ども自身が良いもの悪いものを判断できるような食育の指導の充実をお願いしたい。				

- 【方向性】 1 一生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(5)市立川越高等学校の改革・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①市立川越高等学校将来構想の検討と推進			市立川越高等学校	B
施策の内容	第二次川越市立川越高等学校将来構想懇話会を設置し、「学科編制の在り方」「学校・学級規模の在り方」「教員の研修の在り方」「中高連携や中高一貫教育の在り方」について検討し、市民の負託に応える魅力ある市立高等学校づくりを推進します。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度当初から1年生すべての学科で35人の少人数学級を編制しました。また、地域特別選抜を導入しました。 市立高等学校教員の20年経験者研修・異校種体験研修を連携3中学校(城南中、大東中、野田中)と実施しました。 城南中2年生192人全員が進路指導として、市立高等学校での体験授業を受講しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	市内生の比率(%)	34.0	40.3	37.6	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 中学校と市立高等学校の教員が互いの状況を学び教育力の向上に役立ちました。 市立高等学校と城南中・野田中のソフトテニス部が年間を通して合同練習を実施し、高校生が中学生を指導しました。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 35人学級の編制、地域特別選抜の導入についてその成果を検証します。 中学校と市立高等学校の連携については、3年間を一区切りとして進めており更に推進していきたいと考えています。 授業公開や部活動の合同練習等を通じ、各中学校と市立高等学校の教職員の理解を一層深めます。 				

- 【方向性】 1 一生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(5)市立川越高等学校の改革・充実				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①市立川越高等学校将来構想の検討と推進	市立川越高等学校	B	B	
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> 市立川越高等学校は、川越市の教育の中心となるべき施設だと思っているので特色ある教育をしてもらうように検討をお願いしたい。 学級編制の人数はとても重要であるため、出来れば3学年全てで少人数学級編制が組めるよう検討をお願いしたい。 				B

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(6)教育センターの充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①教育センターの整備・開放の充実			教育センター	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センターの機能を充実させるため、教職員研修体制の整備を図るとともに、市民も活用できる施設となるよう推進します。 ・1階施設や体育館及び運動場は、市民に対して積極的に開放していき、研修施設としての設備は計画的に整備し、教育センター機能の充実を図っていきます。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の貸し出しに関して古谷公民館だよりで告知し、利用団体が増えています。 ・1階施設や体育館及び運動場は、センターでの研修と重ならない場合、市民に対し積極的に貸し出しを行いました。 ・1階施設は、火災対策工事を実施しました。 ・休日や夜間の貸し出し時の管理業務を川越市シルバー人材センターに委託して市民が使いやすい環境整備を行いました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	1階施設利用者数(人)	1,411	944	1,067	
	体育館及びグラウンドの利用回数と人数(回/人)	394 / 15,246	231 / 7,612	197 / 9,069	
評価の理由	<p>運動場の貸し出しは、年間を通して毎週土日使用されています。体育館は、各種団体が使用している学校施設が利用できない期間(改修工事や卒業式等の学校行事)に多く利用されました。</p>				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も施設利用に関する情報を公民館だより等に掲載し、地域住民への周知を図ります。 ・サッカーゴールや体育館等の老朽化対策を行う必要があります。 ・教職員研修施設として1階の一部及び2・3・4階の防火対策、駐車場の整備等を進めていきます。 				

施策の柱	(6)教育センターの充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②家庭・地域との連携研修の充実			教育センター	B
施策の内容	<p>不登校や情報モラル教育の諸問題など、今日的な教育課題解決のために、学校や家庭・地域との相互理解を目的とした家庭・地域と連携した研修の充実を図ります。</p>				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象の研修会を2回実施しました。(平成22年度から実施) ①講義「不登校児童生徒への援助のあり方」 <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の現状と課題 ・不登校0を目指して ②講義「子どもたちとインターネット」 <ul style="list-style-type: none"> ・適切なインターネット利用 ・コンピュータウイルス 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	研修会の開催(回)	2	2	2	
	参加者数(人)	87	73	84	
評価の理由	<p>学校と家庭で相互理解を目的とし、今日的な課題を取り上げた研修会を開催しました。参加者からは、参加して良かった、家で携帯電話について子どもと話してみたい、保護者会等で報告したいといった感想があげられ、概ね順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	<p>保護者の参加者を増やすために、研修会開催通知とともに講演会のリーフレットを作成及び添付し、各学校を通して保護者への周知を図り、参加を促進します。また、各学校へ研修内容を周知し、活用を促します。</p>				

【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱		(6) 教育センターの充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①教育センターの整備・開放の充実	教育センター	B	B	B
	②家庭・地域との連携研修の充実	教育センター	B		
学識経験者等 意見	<p>・教育センターとして最大限の機能を考えれば駐車場機能の拡張をお願いしたい。</p> <p>・川越市の教育の拠点として設備を充実するなど最大限の活用を検討してもらいたい。</p>				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(1)家庭への支援			担当課	担当課評価
細 施 策	①家庭教育の充実			地域教育支援課	A
施策の内容	家庭の教育力を向上させる必要があることから、乳幼児の親や小・中学校PTAを対象とした家庭教育に関するさまざまな学習の機会を提供します。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA家庭教育学級委託事業:54校 ・家庭教育学級運営講座:1回(参加者数:108人) ・保育園家庭教育講座:18回(参加者数:444人) ・幼稚園家庭教育講座:3回(参加者数:127人) ・高等学校家庭教育講座:1回(参加者数:50人) ・登録講師を対象に家庭教育講座に向けての研修会を実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	幼保高家庭教育講座(回)	8	18	22	
	PTA家庭教育学級委託数(校)	54	54	54	
評価の理由	PTA家庭教育学級については、全54校に委託し、各PTAごとに特色ある家庭教育学級を実施し、家庭の教育力の向上が図れました。また、保育園・幼稚園・高等学校家庭教育講座については、市立保育園・高等学校、私立幼稚園で計22回実施し、参加保護者のみならず保育士・教職員にも好評で、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後も引き続き、市内保育園や幼稚園に家庭教育講座の実施に向けて呼びかけ、家庭の教育力の向上を図ります。				

施策の柱	(1)家庭への支援			担当課	担当課評価
細 施 策	②学童保育の充実			教育財務課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労により家庭が常時留守になっている児童を対象に、放課後及び休日等の居場所を確保するとともに、児童の健全育成を図ります。 ・老朽化した学童保育室の保育環境を良くするため、その改善に努めます。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の学童保育室を利用する児童数は1,916人です(全児童に占める割合は11.0%、入室を待機している児童はいない)。 ・32の学童保育室のうち唯一学校敷地外にあった高階南学童保育室について、児童の安全と建物の老朽化に対応するため、校舎内の改修工事を行い、9月に学校内へ移転しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	年度当初の入室児童数(人)	1,906	1,902	1,916	
	老朽化対応率(全プレハブ室数に占める築30年未満の室数の割合)(%)	77	77	75	
評価の理由	年度当初の入室児童数は概ね横ばいですが、申請があった入室要件を満たした児童を全て受け入れており、児童の放課後等の居場所確保を図ることができました。また、老朽化対応としては、高階南学童保育室の移転を実施しましたので、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	老朽化(築30年以上)したプレハブ学童保育室の改築については、第三次川越市総合計画実施計画に基づき改築を行っていきます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱		(1) 家庭への支援			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①家庭教育の充実	地域教育支援課	A	A	A
	②学童保育の充実	教育財務課	B		
学識経験者等 意見	<p>・家庭教育学級については、保護者のみならず保育士・教職員など教育に携わっている方も一緒に参加しているため、大変、好感が持てる。</p> <p>・学童保育室への送迎について、交通事故に対する安全配慮の徹底をお願いしたい。</p> <p>・学童保育室については、施設・設備の充実と指導員の確保に努めてもらいたい。</p>				A

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上			担当課	担当課評価
細 施 策	①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備			地域教育支援課	B
施策の内容	子どもたちが、地域社会で健やかに育ちゆくため、地域ぐるみ教育のためのネットワークを整備し、家庭や地域社会の教育に対する関心と責任意識を高めます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回「学校・家庭・地域の連携による協働事業についての報告及び意見交換」(平成24年5月16日実施) ・臨時会「いじめ防止対策に向けた取組についての報告及び意見交換」(平成24年10月29日実施) ・第2回「これまでの会議の総括及び意見交換」(平成25年3月28日実施) 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	地域ぐるみ教育推進ネットワーク会議開催(回)	2	2	3	
評価の理由	計画に加え、臨時に会議を開催し、「いじめ防止対策に向けた取組についての報告及び意見交換」を実施するとともに、各委員から子どもたちをめぐるさまざまな意見や報告を集約することができ、概ね順調に進ちよしています。				
改善の方策等	3年間の計画で開催した「川越市地域ぐるみ教育推進ネットワーク会議」が、平成24年度をもって計画通り終了したことから、新たな地域ぐるみで教育を推進するためのネットワーク作りを進めます。				

施策の柱	(2)地域の教育力の向上			担当課	担当課評価		
細 施 策	②学びを支援するシステムの整備			地域教育支援課	A		
施策の内容	子どもたちの生きる力を育むため、学校・家庭・地域の連携を深め、地域ぐるみで学びを支援するシステムとして、子どもサポート事業や学校応援団活動を更に推進し、家庭や地域の教育力を高めていきます。						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート委員会によるイベント型事業数 127件(延べ参加者数:28,347人) ・子どもサポート委員会による学校応援団活動数 225件(延べ参加者数:2,592人) ・子どもサポート委員会開催数 133回(延べ出席者数2,757人) 						
指標及び説明	【指標】			【説明】			
	①子どもサポート事業への参加者数 ②学校応援団の活動数			①市内14地区の子どもサポート事業への参加者数 ②市内14地区の子どもサポート委員会が市内小・中学校へ学校応援団として活動する数			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	
	① 人	11,105	15,409	22,196	33,696		15,000
② 件	107	138	144	225		216	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート事業への参加者数は、各地区の特色を生かし、子どもたちの体験活動を充実する事業が多かったため、目標を達成することができました。 ・学校応援団の活動数については、これまで実施していなかったサポート委員会にも活動が広がるなどして、目標を達成することができました。 						
改善の方策等	持続可能な活動にしていくために、スタッフの世代交代や人材の発掘を支援します。また、各サポート委員会間の情報交換や活動発表を進め、子どもたちの実態に即した活動内容の改善に向けて支援していきます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上					担当課	担当課評価
細 施 策	③社会教育関係団体への支援					地域教育支援課	A
施策の内容	子どもたちの学びや体験活動の充実を図るため、PTAや子ども会育成会などの社会教育関係団体の活動を支援します。						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアリーダースクール(第31期生)講座数:5回 受講者数:112人 認定証授与者数:109人 ・ジュニアリーダースクラブ登録者の割合:89.0%(97人) ・社会教育関係団体等の活動の活性化と充実のために補助金を交付しました。 川越市子ども会育成団体連絡協議会:333,000円、川越市PTA連合会:333,000円 						
指標及び説明	【指標】 ジュニアリーダースクラブ登録者の割合			【説明】 ジュニアリーダースクール認証者のうち、ジュニアリーダースクラブに登録した児童の割合			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実 績 値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	%	82.5	85.7	84.1	89.0		85.0
評価の理由	ジュニアリーダースクールについては、修了後ジュニアリーダースクラブに登録し、子ども会の指導や支援のために活動するなど、着実な成果をあげることができ、順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	ジュニアリーダースクールにおいては、認定者が校区ジュニアリーダースクラブへより多く登録し、ジュニアリーダーとして活動できるよう環境整備や支援体制の充実を図ります。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備	地域教育支援課	B	A	
	②学びを支援するシステムの整備	地域教育支援課	A		
	③社会教育関係団体への支援	地域教育支援課	A		
				A	
学識経験者意見等	子どもサポート事業への参加者が大幅に増加している点について非常に高く評価できる。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(1)生涯学習推進体制の確立					担当課	担当課評価
細 施 策	①生涯学習推進のための拠点施設設置					文化スポーツ部 文化芸術振興課	B
施策の内容	地域振興ふれあい拠点施設に生涯学習センターの設置を進めます。						
平成24年度実績	西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)は、県と市の共同事業として川越駅西口に新ホールを含む複合施設として計画されています。この中に生涯学習センターの一部の機能を持つ市民活動(生涯学習等)施設が整備されることになっており、建物の完成は平成26年度中を予定しています。 平成24年度は、市民活動(生涯学習等)施設の管理・運営について庁内検討委員会や関係部署による検討部会を開催しました。						
指標及び説明	【指標】 生涯学習センターの設置			【説明】 生涯学習施設(センター)の設置数			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	館	0	0	0	0		1
評価の理由	平成24年度の実績値は0ですが、西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の中に設置される市民活動(生涯学習等)施設の運営等について庁内で検討部会を設けて検討を進めておりますので、事業は概ね順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	平成25年度から、文化芸術振興課内に文化施設担当を設け、西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の管理・運営に関わる事務を担当する職員を2人から4人に増員しました。今後も、施設完成に向け具体的な管理・運営方法について検討していきます。						

施策の柱	(1)生涯学習推進体制の確立					担当課	担当課評価
細 施 策	②社会教育職員研修の充実					地域教育支援課	C
施策の内容	市民の多様化する学習要求に応えるため、計画的に専門的な研修の機会を設け、関係職員の資質・能力の向上を図るとともに、学習者の視点に立った学習内容・学習方法の改善・工夫に努めます。						
平成24年度実績	・障害者対応事業を実施するための研修会実施 2回 (参加者 50人)						
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24			
	研修会参加者数(人)	64	53	50			
	主事講習職員派遣数(人)	1	1	0			
評価の理由	研修会への参加者数は、講座担当者の専門的な研修会としたため、平成23年度と比較して横ばいですが、講座実施回数は計画どおり実施できました。また、社会教育主事講習職員派遣者数については、派遣者の調整がつかなかったため、総合的に勘案するとあまり順調ではありません。						
改善の方策等	障害者対応事業を企画・運営している担当者の声を聞きながら、障害者理解のための専門的な研修の充実を図っていきます。また、社会教育主事講習職員派遣については、今後も積極的に派遣に向け社会教育関係職員への情報提供に努めます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱		(1) 生涯学習推進体制の確立			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①生涯学習推進のための拠点施設設置	文化芸術振興課	B	B	B
	②社会教育職員研修の充実	地域教育支援課	C		
学識経験者等 意見	<p>・生涯学習センターの設置については、駅に近接し、市民にとって大変便利な施設になるため、市民がよりよい形で利用できる仕組みづくりを検討してもらいたい。</p> <p>・社会教育職員研修への派遣については、講習期間が40日間あり、派遣者を出しづらい状況は理解できるが、社会教育主事のニーズがあるなら、今後も計画的に派遣できるように対策を講じてもらいたい。</p>				B

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設			担当課	担当課評価
細 施 策	①学習情報の提供システム整備			文化スポーツ部 文化芸術振興課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習情報「マナビガイド」を作成し、小・中学校、公民館等に配布します。 市のホームページを活用した学習情報の提供を積極的に推進します。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 月間の講座や教室の情報をまとめた「マナビガイド」を毎月作成し、市民に配布する為、文化芸術振興課と地域教育支援課の窓口及び本庁舎南側玄関横のパンフレットコーナー、市内42箇所の公民館等の公共機関に設置しました。また、職員に周知するため各課に回覧用として配布しました。 市のホームページに「マナビガイド」を毎月掲載しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	マナビ年間発行回数(回)	12	12	12	
	マナビ年間発行件数(部)	5,500	4,300	3,645	
評価の理由	印刷したものが余すことなく有効に活用されるよう、配布窓口や設置部数の見直しを随時行いました。平成24年度は新たに本庁舎南側玄関横のパンフレットコーナーに設置しました。毎月新しい情報を提供できており、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	市内の生涯学習に関する情報が網羅されるよう、各機関との連携を密にし、より見やすい情報誌を目指します。				

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設			担当課	担当課評価
細 施 策	②生涯学習に関する意識調査の実施			文化スポーツ部 文化芸術振興課	B
施策の内容	市民が生涯にわたって学習活動を行いやすい環境の整備のために、定期的な各種調査活動を進めていきます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成4年度から4年ごとに実施しています。 平成24年度は、10月に実施した「市民意識調査」に含めて実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	調査回数	—	—	1	
評価の理由	これまで実施してきたような単独の調査は財政上の問題もあり、「市民意識調査」に含めて実施しました。調査項目数は十分ではありませんが生涯学習の取組状況等、必要最小限の情報が得られたので、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後も、効率的な調査方法を検討し定期的実施していきます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設					担当課	担当課評価
細 施 策	③町内公民館講座の開設支援					中央公民館	A
施策の内容	地域社会の連帯意識や地域の教育活動の振興を進めるために、自治会単位の公民館講座の開設に対して支援します。						
平成24年度実績	各町内等の公民館において地域の教育活動の振興や社会福祉の増進に寄与することを目的とする85講座を支援しました。						
指標及び説明	【指標】 町内公民館講座の開設数			【説明】 町内公民館講座の開催希望講座数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	講座	69	74	81	85		70
評価の理由	前年度比4件増の申請件数があり、各町内における公民館活動が活発に行われ、成果を上げており、順調に進ちよしております。						
改善の方策等	今後も各町内において多様な活動ができるよう、町内公民館講座の開設に向けて支援を行っていきます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①学習情報の提供システム整備	文化芸術振興課	B	B	
	②生涯学習に関する意識調査の実施	文化芸術振興課	B		
③町内公民館講座の開設支援	中央公民館	A			
学識経験者等意見	子ども向けの講座や家庭教育向けの講座の充実を図ってほしい。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供			担当課	担当課評価			
細 施策	①ライフステージにおける課題の学習			中央公民館	A			
施策の内容	乳幼児の心と体を育むことをねらいとした子育て講座等、生涯の各時期に生じる課題の学習活動の提供に取り組むとともに、更なる学習機会の充実・提供に努めます。							
平成24年度実績	ライフステージにおける課題の学習機会の充実の講座数155講座、参加者延べ人数37,646人 (指標は公民館主催事業への参加者数を記載しているため、現代的課題の学習の参加者延べ人数21,048人、地域教育活動支援の講座参加者延べ人数20,717人、事務支援、事務援助参加者延べ人数8,745人、会議等2,482人を含む)							
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24				
	参加者延べ人数(人)	37,066	38,414	37,646				
指標及び説明	【指標】 生涯学習事業参加者数 (内訳として、①公民館主催事業参加者数、②地域文化活動のうち、地区文化祭参加者数)		【説明】 公民館主催事業への参加者数 (H22年度より地域文化活動が市長部局に移管されているため、参考として①公民館主催事業参加者数、②地域文化活動のうち、地区文化祭参加者数を表記する。)					
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値			目標値(H27)		
			H22	H23	H24	H25	H26	
	人	93,530	98,402	111,700	110,970			135,000
	①	71,603	75,876	91,643	90,638			103,000
②	21,927	22,526	20,057	20,332			32,000	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージにおける課題の学習は前年度比2%微減となっています。 ・22年度からは市長部局へ移行になった地域文化活動を除く。(21年度21,927人) ・23年度からは事務支援、事務援助を新たに追加(23年度9,660人、24年度8,745人) 							
改善の方策等	各種講座の実施にあたっては、学習テーマや内容を工夫するなどして、魅力ある講座を継続的に実施し、充実した学習機会を提供していきます。							

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供			担当課	担当課評価
細 施策	②現代的課題の学習			中央公民館	B
施策の内容	社会的に要請される環境学習、情報学習、人権学習等のような現代的課題の学習活動の提供に取り組むとともに、更なる学習機会の充実・提供に努めます。				
平成24年度実績	現代的課題の学習機会の充実の講座数144講座・参加者延べ人数21,048人 (現代的課題の学習の成果実績は、公民館主催事業への参加者人数に含まれている)				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	参加者延べ人数(人)	22,239	22,633	21,048	
評価の理由	講座参加者の延べ人数は、前年度より7%減となりましたが、講座開催の延べ回数は、前年度より4%増加(23年度657回、24年度686回)しており、概ね順調に進ちよしています。				
改善の方策等	多様な学習機会の充実を図るため、NPO等との連携を検討していくとともに、充実した学習機会の提供に努めます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供			担当課	担当課評価
細 施 策	③地域の教育活動を支援			中央公民館	A
施策の内容	地域で行っている教育活動を支援するための学習活動や情報の提供、事業等への支援に努めます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 市の主催事業及び市との共催事業の講座数131講座、参加者延べ人数20,717人 事務支援、事務援助の団体数49団体、参加者延べ人数8,745人 (地域の教育活動を支援の成果実績は、公民館主催事業への参加者数に含まれている)				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	講座参加者延べ人数(講座数・人)	92・13,753	118・18,309	131・20,717	
	事務支援、事務援助(団体数・人)	—	50・9,660	49・8,745	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 講座参加者延べ人数は前年度比13%増です。 市との共催事業は82講座です。(全体の63%・前年度比7講座減) 平成23年度からは事務支援、事務援助を新たに追加し、事務支援事務援助が円滑に進められており、順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	地域の教育活動が活発になるよう、引き続き地域で行っている地域教育活動団体の教育事業等を支援します。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①ライフステージにおける課題の学習	中央公民館	A	A	
	②現代的課題の学習	中央公民館	B		
③地域の教育活動を支援	中央公民館	A			
				A	
学識経験者等意見	特になし				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(4)人権教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①学校教育における人権教育推進事業			地域教育支援課	B
施策の内容	<p>・学校における人権教育の一環として、人権作文・人権標語・人権絵画の取組を、年間指導計画に位置付け、計画的に推進します。</p> <p>・人権教育推進のため、公民館区人権教育推進事業に係る研究を小・中学校に委嘱し、その実践報告を「人権教育実践集録」として発行します。</p>				
平成24年度実績	<p>・人権文集「あけぼの」作成と文集を活用した授業の推進</p> <p>・人権絵画展を開催し、3日間で176人観覧者が来場</p> <p>・作文の優秀作品は、実践報告会で発表(6人)</p> <p>・「川越市の人権教育」の中に、人権教育実践集録として、各委嘱校・委嘱公民館の人権教育に関わる実践や授業研究会の記録などを報告書としてまとめました。</p>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	人権作文・標語・絵画応募総数(点)	835	836	783	
	委嘱小・中学校数(校)	11	10	11	
評価の理由	<p>人権作文・標語・絵画については、800点近い応募がありました。優秀な作品を「あけぼの」に掲載し、各学校に配布することにより、人権教育指導資料として活用できました。委嘱小・中学校・公民館の実践を「川越市の人権教育」として、社会教育・学校教育の内容を1冊にまとめて活用できたなど、概ね順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	<p>第8次公民館区人権教育推進事業が平成25年度から始まることから、第7次までの成果を引継ぎ、更なる人権課題の解決に向けて取り組みます。</p>				

施策の柱	(4)人権教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②人権啓発活動の推進			地域教育支援課	A
施策の内容	<p>差別や偏見のない思いやりのある明るい地域社会を築いて行くため、児童生徒、社会教育施設利用者及び一般市民などを対象に、人権啓発活動を通して、人権意識の高揚と差別意識の解消に努めます。</p>				
平成24年度実績	<p>・川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会開催</p> <p>・川越市人権教育実践報告会開催</p> <p>・人権文集「あけぼの」発行</p> <p>・人権カレンダー発行</p> <p>・広報紙「人権かわごえ」発行</p>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会(人)	213	213	228	
	人権教育実践報告会(人)	271	237	252	
評価の理由	<p>参加人数については、増加傾向を示しています。分科会等では活発な意見交換もあり、参加者からは、貴重な機会であったとの感想を得ることができたなど、順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	<p>研修会の開催時間帯の検討や内容の充実を図り、参加者数の増加に努めます。</p>				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(4)人権教育の充実					担当課	担当課評価
細 施策	③人権教育指導者の養成					地域教育支援課	A
施策の内容	職場や地域社会における人権問題の解決を目指して、人権教育指導者養成講座を実施し、各種団体や家庭における人権教育指導者の養成を図ります。						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館における指導者養成講座の実施(17公民館で実施 87講座 参加者数4,000人) ・小堤集会所事業指導者養成講座の実施(5回) 						
指標及び説明	【指標】 公民館における人権教育指導者養成講座参加者数			【説明】 公民館主催の人権教育指導者養成講座への参加者数			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	人	3,798	3,766	3,813	4,000		4,000
評価の理由	参加者数も増加傾向に転じ、講師の選定や内容についても各公民館で工夫され、充実してきており、順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	指導者養成講座の内容については、講演会だけでなく、人権感覚育成プログラムなどの体験学習を取り入れた内容を増やせるよう、公民館職員を県の人権教育研修会等へ参加を促します。						

施策の柱	(4)人権教育の充実					担当課	担当課評価
細 施策	④関係機関・団体等との連携					地域教育支援課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の高揚と差別意識の解消のため、関係機関や団体等と連携した教育活動を推進します。 ・自治会等と連携した教育活動を推進し、地域内の交流を深めるとともに、学習の場としての集会所事業を推進します。 						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所事業各講座の実施(習字教室24回、カラオケ教室22回、フレンドスクール8回、成人講座5回、女性講座5回、高齢者講座5回) ・心輝く書道展開催 ・集会所ふれあいまつり開催 						
成果実績	項目名(単位)		H22	H23	H24		
	集会所事業講座・教室参加者数(人)		1,357	2,327	2,222		
	ふれあいまつり参加者数(人)		238	198	267		
評価の理由	集会所事業のうちフレンドスクールは、多くの子どもたちの参加があり、昨年より100人以上の参加者増でした。参加者数が減少した教室等もありますが、全体的には概ね順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	集会所事業の充実に向け、集会所運営委員会、協力委員会で協議を重ね、事業内容等を更に工夫していくように努めます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱		(4) 人権教育の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学校教育における人権教育推進事業	地域教育支援課	B	A	A
	②人権啓発活動の推進	地域教育支援課	A		
	③人権教育指導者の養成	地域教育支援課	A		
	④関係機関・団体等との連携	地域教育支援課	B		
学識経験者等 意見	<p>・人権絵画展の観覧者については、もう少し増えるようにしてもらいたい。 ・人権教育実践報告会や人権啓発フィルム研修会は、参加者がお互いに意見交換をしており、人権に対して考え直す、よい機会であるため、今後も継続して実施してもらいたい。</p>				A

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(1)身近な学習施設としての公民館の整備・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①公民館の設置			地域教育支援課	C
施策の内容	本庁、出張所区域と中学校区を勘案しながら、未設置地区については、身近な学習施設としての公民館の建設を推進します。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ関北公民館整備推進：建設検討懇話会実施(4回) ・(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進：建設用地取得、建設検討懇話会実施(4回) ・(仮称)西公民館建設推進：地元自治会長会議にて事業概要の説明会を開催(1回) 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	検討懇話会の開催回数(回)	4	—	—	
	建設検討懇話会の開催回数(回)	—	2	8	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ関北公民館整備推進及び(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進は、ともに建設検討懇話会において導入機能を協議しており、概ね順調に進ちよくしています。 ・(仮称)霞ヶ関西公民館は建設用地を取得しました。 ・(仮称)西公民館建設推進は、候補地の検討等具体的に進ちよくしていないことから、総合的に勘案するとあまり順調ではありません。 				
改善の方策等	霞ヶ関北公民館整備推進及び(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進については、建設予定地の管理に努めるとともに、引き続き施設機能について建設検討懇話会を開催し検討を進めてまいります。また(仮称)西公民館建設推進についても、地元と調整を図りながら建設候補地の決定に向け事業を推進してまいります。				

施策の柱	(1)身近な学習施設としての公民館の整備・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②既存公民館の整備・充実			中央公民館	D
施策の内容	既存の公民館については、市民が利用しやすい学習施設の充実を図るため、大規模改修工事等整備充実に努めます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事の実施件数 0件 ・全公民館からの修繕等要望件数86件、修繕実施件数10件、修繕要望件数の実施率12% 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	修繕等要望件数の実施率(%)	28	14	12	
評価の理由	建築後30年以上の公民館が11館と多く、老朽化した施設や設備の修繕や備品等の購入について、優先順位を定め執行するよう努めていますが、突発修繕に追われて計画的に修繕を行うことができていないため、進ちよくが順調ではありません。				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・大東公民館は、大東市民センター(仮称)内に移転予定です。 ・南公民館は、西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)内に移転予定です。 ・霞ヶ関北公民館は、移転改築のため現在検討が進められています。 ・市民にとって地域の身近な学習施設として利用されるよう努めます。 				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱		(1) 身近な学習施設としての公民館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①公民館の設置	地域教育支援課	C	C	C
	②既存公民館の整備・充実	中央公民館	D		
学識経験者等 意見	特になし				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①図書館サービス網の充実			中央図書館	C
施策の内容	「図書館サービス網計画」に基づき、市民が身近な場所で図書館サービスが受けられるよう分館整備を推進します。				
平成24年度実績	現在、南部地域(大東地区・福原地区)の分館建設の見通しが立たず、建設等に向けた推進ができない状況にあります。このため、図書サービスや利便性の向上を図るため、雑誌スポンサー制度を実施して資料の充実を図るとともに、返却ポストの増設について検討しました。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	4館延べ開館日数(日)	1,171	1,169	1,171	
	総貸出冊数(冊)	1,909,514	1,948,284	1,920,055	
評価の理由	南部地域の分館建設の見通しが立っていない状況ですが、利用者が利用しやすいよう、平成22年度から、祝日開館の振替休館を廃止して図書館各館の開館日数を増やしたり、資料の貸出冊数の上限を増やすなど、図書館サービスの充実を図っています。				
改善の方策等	分館建設については、今後も状況を注視していくとともに、更なる図書館サービスの拡大に努めてまいります。				

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実			担当課	担当課評価		
細 施 策	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実			中央図書館	A		
施策の内容	図書館サービスに関する多様な市民要望に応えるため、各分野の資料収集や学習・研究情報の提供サービス機能の充実に努めます。						
平成24年度実績	蔵書数は、中央図書館が499,109冊、西図書館が154,850冊、川越駅東口図書館が75,357冊、高階図書館が90,923冊で、4館合計では820,239冊となっています。						
指標及び説明	【指標】 蔵書数		【説明】 川越市立図書館の所蔵資料数(図書だけでなく視聴覚資料なども含む)				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	
	冊	799,883	805,270	812,526	820,239		860,000
評価の理由	平成24年度実績は820,239冊で、目標値の95%を達成し、順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	全館が連携し、引き続き、蔵書の充実に努めます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実					担当課	担当課評価
細 施 策	③図書館を活用した学習活動の推進					中央図書館	C
施策の内容	生涯にわたる学習活動の充実のため、市立図書館の資料だけではなく、県立図書館、相互利用協定の図書館、大学や学校図書館との連携・協力の拡大を図り、図書館のネットワークを活用して学習活動を支援します。						
平成24年度実績	県立図書館、相互利用協定の図書館、大学や学校図書館との連携・協力を図り、更なる拡大のため市内大学図書館1館と連携検討中です。						
指標及び説明	【指標】 大学図書館との連携			【説明】 市内の大学図書館との相互協力校数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	校	1	1	1	1		2
評価の理由	大学図書館1館との連携を検討中ですが、実施に至っていないため、進捗はあまり順調ではありません。						
改善の方策等	今後、市内の大学と拡大を含め、積極的に協議検討していきます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①図書館サービス網の充実	中央図書館	C	C	
	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実	中央図書館	A		
③図書館を活用した学習活動の推進	中央図書館	C			
学識経験者等意見	図書館における情報通信技術を使ったサービスの導入については、是非、検討をお願いしたい。				C

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(3)博物館の整備・充実						担当課	担当課評価
細 施策	①展示機能の充実						博物館	B
施策の内容	常設展示の見直しを行い、新たな学術成果やより学びやすい展示手法を展示に反映できるよう研究を進め、展示機能の充実を図ります。							
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示見直しのため、学識経験者による常設展示検討委員会(1回)、庁内検討委員会(1回)を開催し、改修方針、工期、運営方法について検討しました。 ・市制施行90周年事業として特別展と名刀展を開催し、例年の企画展・収蔵品展に加え新作名刀展を開催しました。年間入館者数は94,318人と前年度比約4%の増加となりました。 							
指標及び説明	【指標】 博物館の入館者数				【説明】 博物館の年間入館者数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値				目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	人	89,022	77,163	90,746	94,318			100,000
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展の見直しについては、委員会を開催し検討を進めましたが、事業の着手時期に課題が残されています。博物館入館者数は、本丸御殿の保存修理後回復を見せ、特別展等の効果もあって昨年より増加しています。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き常設展示検討委員会で検討を重ね、内容をより具体的に詰めることでスムーズに設計・工事へ移行できるように準備を進めます。 ・企画展の開催に際しては、市民の興味・関心に応えるようなテーマ設定を引き続き工夫し、入館者の拡大に努めます。また他団体との共催や共同企画なども検討します。 							

施策の柱	(3)博物館の整備・充実						担当課	担当課評価
細 施策	②郷土資料の収集・保存						博物館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・川越の歴史と文化に係る資料収集に努めるとともに、その保存と活用を図ります。 ・資料を保存する収蔵庫については、収蔵能力が不足してきたため効率的な収蔵保管に努めるとともに、将来的な収蔵システムやスペースを検討します。 							
平成24年度実績	平成24年度は購入資料2点、寄贈資料385点を受入れ、収蔵資料の累計が37,031点となりました。また、市内1家からの寄託資料を整理し「菅間竹ノ谷家文書目録」を作成しました。							
指標及び説明	【指標】 博物館の収蔵資料点数				【説明】 博物館収蔵資料の累計点数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値				目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	点	35,850	35,972	36,644	37,031			40,000
評価の理由	博物館資料の将来的な収蔵スペース確保に係わる施設について、庁内の関係課で検討が行われました。資料収集については、収蔵スペースの不足のため大型民具に限って制限していますが、収蔵資料は全体として着実に増加し活用が図られているため、概ね順調に進捗よくしています。							
改善の方策等	郷土資料は、現地保存ができない場合には博物館で寄贈・寄託により受け入れる必要があります。引き続き効率的な収蔵に努めるとともに、新たな収蔵スペースの検討を進めます。貴重な資料の収集については、購入できない場合、寄託により収集を積極的に進めます。							

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(3)博物館の整備・充実					担当課	担当課評価
細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化					博物館	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多様な学習要求に対応できるよう、講座・教室など教育普及事業の充実を図ります。 小・中学校との連携を進め、学校の教育課程に位置付けた博物館活用の充実を図ります。 						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 大人向け事業の参加者数は1,667人、子ども向け事業の参加者数は2,109人でした。 教育活動の一環として博物館を利用した学校は、市内延べ94校・8,206人、市外227校・22,909人の総計321校・31,115人でした。 このほかにも教育活動の一環として市内の幼稚園、1園・53人が利用しました。 						
指標及び説明	【指標】 ①博物館の講座・教室の参加者数 ②教育課程に位置付けた博物館活用の学校数			【説明】 ①博物館主催の講座・教室への参加者数 ②小中学校・高校・大学の博物館活用の年間学校数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	① 人	3,194	2,970	3,000	3,776		3,400
② 校	268	275	324	321		300	
評価の理由	小・中学校の校外学習のための学習カードや学校利用マニュアルを作成し、効果的な博物館活用が図れました。講座・教室の参加者は、目標値を上回り、前年度比約26%増加しました。また博物館利用の学校数は、昨年と比べ若干減少しましたが、目標値を上回っているため順調に進ちよしております。						
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特色を生かした魅力ある大人向けの講座を引き続き実施していく必要があります。また歴史に興味・関心を持つ人の社会貢献の場として、ボランティアガイドの養成、充実に努めます。 小・中学校の校外学習として、博物館や川越を利用する先生方に、効果的な活用方法を提案するとともに、引き続いて学習カードや学校利用マニュアルの充実を図ります。 						

施策の柱	(3)博物館の整備・充実					担当課	担当課評価
細 施 策	④博物館・蔵造り資料館の整備					博物館	C
施策の内容	社会教育施設、文化財及び観光拠点施設としての機能を充実させるため、博物館・蔵造り資料館の整備を図ります。						
平成24年度実績	博物館は、主に老朽化に伴う施設(ガラス・空調機・誘導灯等)の修理を行い、博物館機能を維持するための整備に努めました。また蔵造り資料館も同様に老朽化に伴う施設(土壁・照明器具等)の修理を行い施設整備に努めました。						
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24			
	施設・設備の修繕件数(件)	27	33	21			
評価の理由	博物館及び資料館の機能を維持するために、応急的な修繕を実施してきましたが、老朽化による修繕必要箇所を多く抱えており、施設整備面で遅れているため、あまり順調ではありません。						
改善の方策等	将来にわたって博物館の機能を維持または充実していくためには、必要性の高い緊急的な修理に対応しながら、展示施設のリニューアルの検討を進めてまいります。また築120年以上を経過している蔵造り資料館は、耐震診断を実施し、その結果を踏まえた耐震補強と併せて保存修理を計画していきます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱		(3) 博物館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①展示機能の充実	博物館	B	B	B
	②郷土資料の収集・保存	博物館	B		
	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	博物館	A		
	④博物館・蔵造り資料館の整備	博物館	C		
学識経験者等 意見	<p>・学校の子どもたちに対する教育講座は、地域の歴史等を知ることができ、地域の子どもにとって大変重要だと思うため、実施回数を増やしてもらいたい。</p> <p>・初級講座を受講した子どもたちには、学習意欲が増すような中級・上級講座を開設し、地域を知るきっかけを作ってもらいたい。</p>				B

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(4)高等教育機関等との連携・協働の推進		担当課	担当課評価			
細 施 策	①川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座として開催)		文化スポーツ部 文化芸術振興課	C			
施策の内容	市民の高度で体系的な学習欲求に対応するために、近隣大学(市内4大学・市外1大学)との連携により市内各大学施設等を活用し、市民のリカレント教育の機会の拡充を図ります。						
平成24年度実績	平成23年度に実施された公開事業点検の結果、「川越シティカレッジ」は廃止されましたが、「川越市と市内大学との連携に関する基本協定書」に基づき、市内4大学と川越シティカレッジの受講生等の市民代表により検討会議を開き、「川越大学間連携講座」を開催することとなりました。平成24年度は、日程の調整がつかず、2大学のみの実施でしたが、95人の受講がありました。						
指標及び説明	【指標】 川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座の開催)		【説明】 川越シティカレッジの年間開催数 (平成24年度より川越大学間連携講座の年間開催数)				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	回	5	6	6	2		6
評価の理由	検討会議を開催したことにより、大学と受講生双方の意見を聴くことができました。平成24年度は2回の開催で、開催回数は前年度よりも減り、目標値を下回りましたので、進捗よくがあまり順調ではありません。						
改善の方策等	今後も市民の意見・要望を取り入れながら、市内4大学と連携し、それぞれの大学の特性を生かした講座を開催してまいります。						

施策の柱	(4)高等教育機関等との連携・協働の推進		担当課	担当課評価
細 施 策	②大学と連携した人材の育成		文化スポーツ部 文化芸術振興課	C
施策の内容	市内各大学との連携により、地域の課題に対応した専門的な知識・技能やマネジメント能力を有する人材を育成します。			
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度から21年度は、尚美大学と連携し「地域活動コーディネーター養成講座」を開催してまいりましたが、平成22年度からは、平成13年度から18年度まで川越市が主催したシニア講座の修了生が運営する「川越シニア大学小江戸塾」と連携して「ふるさと塾」を開催し、地域の生涯学習ボランティアとして公民館や学校での体験学習・支援活動に関わるシニアの人材育成を行いました。 平成24年度は、「ふるさと塾」の講座は全11回行い、38人の受講がありました。 			
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24
	地域活動コーディネーター養成講座開催数(回)	—	—	—
	ふるさと塾開催数(回)	1	1	1
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度は、大学との連携による人材の育成ではなく「川越市提案型協働事業」として実施する「ふるさと塾」の運営を支援しました。 「大学と連携した人材育成」という点では進捗よくがあまり順調ではありません。 			
改善の方策等	今後は「ふるさと塾」の運営支援と併せ、「川越大学間連携講座」の中で、地域の課題に対応した専門的な知識・技術やマネジメント能力を有する人材を図る講座を検討してまいります。			

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱		(4) 高等教育機関等との連携・協働の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座として開催)	文化芸術振興課	C	C	C
	②大学と連携した人材の育成	文化芸術振興課	C		
学識経験者等 意見	特になし				

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用					担当課	担当課評価
細 施策	①文化財の保護と活用					文化財保護課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えていくために、文化財調査等の実施を通して隠れた貴重な文化財を見だし指定します。 文化財の保護に努めるとともに、文化の価値を生かした活用を積極的に図ります。 地域の文化財をその周辺環境も含め、総合的に保存活用していくための基本構想を策定します。 						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財数:256件(前年度比102%) 埋蔵文化財調査件数 発掘調査件数:7件(前年度比58%) 試掘調査件数:72件(前年度比84%) その他文化財調査件数:7件(前年度比233%) 埋蔵文化財出土品貸出件数:6件(前年度比86%) 						
指標及び説明	【指標】 指定等文化財数			【説明】 市、県、国指定等文化財数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	件	246	250	252	256		255
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 新指定文化財として新たに5件が指定され、1件の指定解除がありました。 埋蔵文化財の発掘調査・試掘調査については、前年度に比べ減少しましたが、記録保存が図られており、順調に進ちよくしています。 出土品の他市等への貸出はありましたが、学校の事業への活用は進みませんでした。 						
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の活用にあたり、学校との連携を図り、出土品の貸出や出前講座等を推進します。 市内の文化財を総合的に保存活用するため、歴史文化基本構想の策定作業を進めます。 						

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用					担当課	担当課評価
細 施策	②文化財保護意識の啓発					文化財保護課	B
施策の内容	国民の財産である文化財の価値を市民に周知し理解を深めるために、文化財保護意識の啓発に努めます。						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 最新遺跡発表会参加者数:63人(前年度比103%) 文化財防火訓練参加者:111人(前年度比97%) 職員の講師派遣:12回(前年度比120%) 啓発用刊行物(パンフレット):新規1件「市指定史跡 永島家住宅(旧武家屋敷)」 改訂3件「川越市指定文化財 時の鐘」「国指定史跡 河越館跡」「川越城中ノ門堀跡」 						
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24			
	最新遺跡発表会参加者数(人)	85	61	63			
	啓発用刊行物の新規・改訂刊行数(件)	0	0	4			
評価の理由	防火訓練の参加者は減少しましたが、最新遺跡発表会参加者は増加し、職員の講師派遣回数も増加しており、概ね順調に進ちよくしております。						
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 啓発事業の開催等に関わる広報をより広く展開します。 文化財保護活動団体や学校等と積極的に協働を図りながら、文化財保護意識の啓発に努めます。 						

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価
細 施 策	③民俗文化財の保存と後継者の育成			文化財保護課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 民俗文化財を地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援協力します。 後継者養成を積極的に支援します。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 川越氷川祭の山車行事保存会の開催回数:4回(前年度比100%) 博物館民俗芸能実演会:1回(石田の獅子舞)(前年度比100%) 民俗文化財保存修理の補助事業件数:2件(前年度比67%) 無形民俗文化財後継者養成の補助事業実施団体数:15団体(前年度比88%) ※1 補助事業で保存修理された民俗文化財件数/民俗文化財件数×100(民俗文化財件数は、国・県・市指定の民俗文化財(有形・無形)の合計数) ※2 補助事業で後継者養成事業を実施した団体数/無形民俗文化財保存団体数×100				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	民俗文化財保存修理率(%)※1	8	8	6	
	後継者養成事業実施団体率(%)※2	100	94	83	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 民俗文化財の保存継承に必要な会議や実演会を実施しました。また、継承していくために必要な道具等の保存修理を計画的に進めました。 後継者養成事業については、補助申請のあった団体に対して、すべて補助ができました。 健全な後継者育成の仕組みを確立することに課題がありますが、概ね順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	保存団体と協力しながら、民俗文化財への理解が深まるような発表の場が更に増えるように努めます。また、健全な後継者育成の仕組みを確立することを図ります。				

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価			
細 施 策	④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実			都市景観課	B			
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 伝統的建造物の保存修理を計画的に実施し、地区の特性を生かした歴史的風致の維持・向上に努め、重要伝統的建造物群保存地区の保存整備を行います。 地区のPRや関連する事業との調整を行います。 							
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 修理3件(震災復旧) ⇒ 亀屋土蔵 仲町4-3(二番蔵、三番蔵、四番蔵、五番蔵の漆喰壁修理等)ほか2件 修理2件(通常) ⇒ 足立屋産業土蔵 幸町10-3(外壁修理、建具修理、屋根葺き替え、構造補強等)ほか1件 伝統的建造物の特定9件 ⇒ 安齊家主屋 幸町6-2ほか8件 歴史的風致維持向上計画に関連する新築修景の事業実施に向けて、伝統的建造物群保存地区内の修景事業との調整を図るべく川越町並み委員会との共同研究を行いました。 							
指標及び説明	【指標】 伝統的建造物の修理件数累計			【説明】 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業における大規模な修理事業の件数				
	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)	
指標の推移	件	34	H22 38	H23 41	H24 46	H25 /	H26 /	55
評価の理由	東日本大震災において損傷した伝統的建造物の修理を優先したことにより、修理事業の実績値が昨年度に比べて増えたこともあり、概ね順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	伝統的建造物の保存修理については国庫補助を受けているため、計画的な保存整備が行えるよう、常に伝統的建造物所有者の修理意向、及び伝統的建造物新規特定に対する意向把握を行い、関係機関との早期調整を心がけます。							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価
細 施 策	⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業			文化財保護課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定されている有形文化財の維持管理を継続的に行い、その保存に努めます。 博物館や関係各課と連携し、その活用を図ります。 				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財保存(維持管理・保存修理)の補助事業実施件数:25件(前年度比147%) 指定文化財管理報償金支給件数:140件(前年度比99%) 永島家住宅(旧武家屋敷)の見学者人数:2,347人 ※1 指定文化財の保存(維持管理・保存修理)のための補助事業件数/指定文化財件数×100(この場合の指定文化財(登録・選定・重要美術品は除く。)件数は、国・県・市指定の民俗文化財(有形・無形)を除いた数。) 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	指定文化財保存事業実施率(%)※1	11	9	12	
	川越城本丸御殿・蔵造り資料館・永島家住宅入館者数(人)	78,769	209,754	207,907	
評価の理由	有形文化財の保存のための補助事業は、所有者からの申し出通り補助ができました。また、文化財管理者に対し管理報償金を支給して、適切な維持管理ができました。教育委員会が所管する3件の文化財の入館者数は昨年より若干減少しましたが、公開事業は概ね順調に進ちよくしております。				
改善の方策等	有形文化財の所有者・管理者と協力して、文化財の適切な維持管理と保存を継続して推進し、その上で文化財の活用を推進します。市所有の文化財についても、他課と連携して適切に維持管理し、更に活用が進むように努めます。				

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価			
細 施 策	⑥河越館跡地等の整備・活用			文化財保護課	B			
施策の内容	郷土学習の場、市民の憩いの場として国指定史跡河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO、大学等と協働してその有効活用を図ります。							
平成24年度実績	史跡公園(未整備地を含む)の活用を目的としたイベントを文化財・歴史の理解を前提とした内容で企画・実施しました(24年度実績値1)。							
指標及び説明	【指標】			【説明】				
	①河越館跡地の史跡公園整備率 ②国指定史跡河越館跡史跡公園活用事業数累計			①指定史跡面積中の公有化面積に占める整備面積の割合 ②河越館跡史跡公園を利用した事業の総数				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	① %	30.4	30.4	30.4	30.4			78.0
	② 件	0	1	2	1			5
評価の理由	史跡公園を活用したイベントは、地元自治会・保存会を含む実行委員会形式で流鏝馬を実施しました。							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 2期整備に向けて、発掘調査から得られた成果の精査・検討を進めていきます。 今後の活用として、市主催の他に地元住民や隣接する小学校等が主催するような事業が実施されるように調整を図ります。 							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱		(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化財の保護と活用	文化財保護課	B	B	B
	②文化財保護意識の啓発	文化財保護課	B		
	③民俗文化財の保存と後継者の育成	文化財保護課	B		
	④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	都市景観課	B		
	⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業	文化財保護課	A		
	⑥河越館跡地等の整備・活用	文化財保護課	B		
学識経験者等 学意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業への貸出や出前講座については、積極的に実施してもらいたい。 ・今後とも無形民俗文化財における後継者の育成に対して資産として守っていただけるよう市の支援をお願いしたい。 ・重要伝統的建造物群保存地区を保存するため大変なこともあると思うが、地域を守ってもらいたい。 ・河越館跡地等の整備・活用については、郷土学習の場として中世の川越をイメージできるような展示や資料館があると良い。 				B

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興			担当課	担当課評価
細 施 策	①連携・協働による新たな文化芸術の創造			文化スポーツ部 文化芸術振興課	A
施策の内容	さまざまな団体や人々との連携や協働により、文化芸術の振興を図るとともに、本市にふさわしい新しい文化芸術の創造に努めます。				
平成24年度実績	平成24年度は、①ビッグバンド・ジャズフェスティバル、②川越市民文化祭、③川越美術展覧会、④文芸川越の発行、⑤2音大クラシック・コンサート、⑥第九演奏会、等の文化芸術事業を実施しました。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	文化芸術団体との協働による文化芸術事業件数(件)	4	5	6	
評価の理由	市内の文化芸術団体との連携・協働により文化芸術に関わる事業を実施しています。平成24年度は、地元大学との連携により、2音大クラシック・コンサートが新規事業として実施され、事業は順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	本市の文化芸術関係団体と連携し、本市にふさわしい新しい文化芸術事業を実施することで、今後恒例行事として定着するよう努めていきます。				

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興			担当課	担当課評価		
細 施 策	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり			文化スポーツ部 文化芸術振興課	A		
施策の内容	新しい価値観を持つ若い世代の方々が、中心的に活躍してもらう環境を整え、文化芸術事業に積極的に参加・活動してもらうための事業を検討します。						
平成24年度実績	市内大学と連携して、2音大クラシック・コンサートを市民会館大ホールにて開催しました。これは、市内にある尚美学園大学と東邦音楽大学による演奏会で、市内に若い世代が集う機会と音楽を通じて活気のあるまちづくりを進めていこうとする目的で開催しました。						
指標及び説明	【指標】 若い世代の参加事業の取組		【説明】 若い人向けイベント年間開催数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	
	回	0	0	1	2		2
評価の理由	若い世代が参加できる新規事業として地元の中学生・高校生にも参加いただき、2日間にわたり盛大に開催することができました。入場者も延べ500人を超し大変好評であり、今後も継続性と発展性が期待できます。目標値も達成し、順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	若い世代が文化芸術事業へ参加しやすい環境づくりを進めていくため、今後もさまざまな文化芸術に関する事業を企画していきたいと考えております。						

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興						担当課	担当課評価
細 施 策	③特色ある文化芸術拠点の整備						文化スポーツ部 文化芸術振興課 美術館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)に計画中的の新ホールは、良質な芸術の鑑賞機会を提供するなど、市民はもちろん県西部地域の人々に親しまれる施設として整備します。 市立美術館は、質の高い芸術作品に触れる場とするとともに、市民の文化芸術活動の創作・発表の場として、整備充実を図ります。 							
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の管理運営方法について庁内で検討しました。 美術館の年間稼働率は、平成22年度の値までほぼ回復しました。 教育普及事業をサポートするとともに、「やなせたかしの世界展」では、幼稚園等の対応で、ギャラリートツアーを担当するなど大変意欲的に活動し、市民サービスに貢献しました。登録人数31人(前年度比141%) 							
指標及び説明	【指標】 ①教育普及ボランティアの活動実施 ②市民ギャラリーの利用促進 ③創作室の利用促進			【説明】 ①美術館市民ボランティアの活動回数 ②市民ギャラリーの利用年間稼働数 ③創作室の年間利用稼働率				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	①回	0	20	26	49		20	
	②週稼働	45	49	42	51		47	
③稼働率/%	46.6	44.0	43.0	43.9		65.0		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)は、文化芸術振興課に西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)に関わる職員を2人配置し、施設設備を進め、平成26年度の完成を目指し概ね順調に進ちよくしています。 平成24年度と23年度の実績値を比較すると、①～③ともに増加しています。また、①②は目標値を上回り、概ね順調に進ちよくしています。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度から、文化芸術振興課に西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)に関わる文化施設担当を設けて、施設整備を進めてまいります。 教育普及ボランティアの活動については、単なるサポートだけでなく、ワークショップの企画や展示への関わりなど活動を広げ、サポートへの関心を高めてもらえるような発信をしていきます。 創作室、市民ギャラリーの利用案内を、広報やホームページなどで、市民に更に周知します。 							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興					
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価	
			細施策	施策の柱		
	①連携・協働による新たな文化芸術の創造	文化芸術振興課	A	A		
	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	文化芸術振興課	A			
③特色ある文化芸術拠点の整備	文化芸術振興課・美術館	B				
学識経験者等意見	市内に2つの音楽大学があるのは、文化芸術の振興を図る上では恵まれた環境にあるため、大学の協力を得て、クラシックコンサートに限らず今後とも若い世代が参加しやすい幅広いコンサートの開催を積極的に展開してもらいたい。				A	

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(3)文化芸術に触れる機会づくり			担当課	担当課評価
細 施策	①文化芸術が身近にある環境づくり			文化スポーツ部 美術館	A
施策の内容	市民に良質な音楽、舞台芸術の鑑賞、また、市民のための文化芸術の発表と鑑賞など、身近なところで気軽に文化芸術に触れることができるために環境整備に努めます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展を開催し、小特集を組み3ヶ月に一度の展示替えを行いました。 ・タッチアートコーナーにて年4回の企画展示を行いました。 ・特別展を年4回開催しました。(春夏秋展は、開館10周年・市制施行90周年記念特別展) (春)珠玉のコレクション展 (夏)タッチアート! 2 美術に触れるはじめての一步 (秋)小江戸川越江戸絵画 職人尽絵と三十六歌仙額 (冬)やなせたかしの世界展 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	常設展観覧者数(人)	35,323	36,044	38,135	
	特別展観覧者数(人)	21,553	28,110	29,565	
評価の理由	平成23年度に対し、常設展、特別展の観覧者数はともに増えており、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから大人まで幅広い世代が美術を楽しめる展覧会の開催に努めます。 ・広報、ホームページ、プレスリリースなどを通して、広く周知を図ります。 				

施策の柱	(3)文化芸術に触れる機会づくり			担当課	担当課評価		
細 施策	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり			文化スポーツ部 美術館	B		
施策の内容	次代を担う子どもたちが文化芸術に親しんでもらうために、鑑賞だけでなく、文化芸術に触れ、体験する事業を促進します。						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが美術館を積極的に訪れ、アートに触れる機会を定期的に設けました。参加数1,006人(前年度比480%) ・川越市の美術文化を育むために、中学校の美術部の祭典を実施しました。1,500人(前年度比115%) ・川越市から県の展覧会に出品された特選作品を150点集めて一同に展示し市民に高覧頂きました。(前年度比105%) 						
指標及び説明	【指標】			【説明】			
	①ジュニアアーツスクエアの開催 ②川越市立中学校美術部の祭典の開催 ③小中学生県特選美術作品展の開催			①子どものプログラムの実施回数 ②美術部展に参加している学校の数 ③展覧会の入場観覧者数			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	①回	0	9	12	12		12
	②校	17	17	18	20		20
③人	367	360	313	330		700	
評価の理由	①の月1回開催は、予定どおり実施することができました。 ②については、現在美術部を有する中学校すべてが参加できました。 ③については、前年度を上回りましたが、現在値には届きませんでした。						
改善の方策等	①は、形態を工夫し、大幅な人数増となったため、今後もより魅力あるものにしていきます。 ②については、学校の定例活動として、より一層レベルアップが図れるよう指導の質を高めます。 ③については、広報と展示を工夫して市民の方に広く見ていただけるようにします。						

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱		(3) 文化芸術に触れる機会づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化芸術が身近にある環境づくり	美術館	A	A	A
	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	美術館	B		
学識経験者等 学意 見	<p>・小中学生県特選美術作品展の開催については、入場者数があまり多くないため、告知の方法を変更し、子どもたちの作品を多くの方に見て、感じてもらいたい。</p> <p>・特別展や企画展の内容を充実させ、今後も身近で気軽に文化芸術に触れることができるような環境整備を図ってほしい。</p>				A

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進		担当課	担当課評価			
細 施策	①文化芸術活動への支援		文化スポーツ部 文化芸術振興課	A			
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を行う団体等への支援を継続するとともに、市民から寄せられる情報を効率的に収集し、適切に発信するよう努めます。 文化芸術の分野で顕著な成果を収めた人や振興に寄与した人への顕彰を行い、市民の文化芸術活動を促進します。 						
平成24年度実績	①川越市文化団体連合会への支援(市民文化祭の開催)、②地区文化祭実行委員会への支援(地区文化祭への補助金交付)、③川越美術協会への支援(市美術展の開催)、④文芸団体等への支援(文芸川越の刊行)、⑤2音大クラシックコンサートの開催(市民支援)、⑥第九演奏会の開催(市民支援)、⑦総合文化祭開会式の開催(市民支援)、等						
指標及び説明	【指標】 文化芸術の支援		【説明】 文化芸術を発表する機会の年間事業数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	事業	4	5	6	7		5
評価の理由	文化芸術団体への支援として各種事業を各団体と連携して実施していますので、既に目標値を超えており順調に進ちよしています。						
改善の方策等	文化芸術顕彰要綱については、現在素案の検討中です。なるべく早い段階で要綱を作成するように努めます。						

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進		担当課	担当課評価
細 施策	②文化芸術活動の場の整備		文化スポーツ部 文化芸術振興課	B
施策の内容	市民が身近なところで発表ができ、また、文化芸術の鑑賞ができるよう、施設及び場の整備に努めます。			
平成24年度実績	平成26年度中の完成を目指し、埼玉県との共同事業として、川越駅西口に西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の建設が進められているところです。市の施設には、約1,700席の新ホールと市民活動支援センターが設置されることになっています。 平成24年度は、市施設の管理運営方法等について庁内で検討いたしました。			
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24
	西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)管理運営検討部会開催件数(件)	0	5	15
評価の理由	西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)は、平成26年度中に完成する予定となっています。現在は、既存の施設で市民文化祭、美術展覧会、音楽フェスティバル等の事業を実施しています。拠点施設に新ホールが完成した際には、現在市民会館で開催している文化事業については、新しいホールで開催できるようになりますので、事業については概ね順調に進ちよしています。			
改善の方策等	平成25年度から、文化芸術振興課に西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)に関わる文化施設担当を設けました。 今後も市民が参加しやすい文化芸術事業と施設整備を進めていきたいと考えております。			

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進					担当課	担当課評価
細 施 策	③文化交流の促進					文化スポーツ部 文化芸術振興課 国際文化交流課	C
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術団体相互の意見交換の場を設定し、ネットワークの強化を図ります。 中学生に海外姉妹都市での生活文化を体験させ、相互理解と交流を促進します。 						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術団体相互の交流を図るため、平成24年度も川越市文化団体連合会と川越美術協会、地区文化祭実行委員会の協力により「総合文化祭開会式」を市民会館で開催しました。 オッフエンバッハ市訪問中学生交流団22人の派遣を実施いたしました。 						
指標及び説明	【指標】 文化施設の利用者数			【説明】 市民の文化活動を促進するための文化施設の利用者 (ここでいう文化施設とは川越市市民会館・やまぶき会館・川越西文化会館・川越南文化会館・川越駅東口多目的ホール及び川越市立美術館)			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	人	593,643	569,301	537,052	590,295		1,000,000
評価の理由	目標値は平成26年度中に完成予定の西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)にできる新ホールの利用者数を見込んでの数値です。平成24年度の文化施設の利用者数は、東日本大震災からの復興と市制施行90周年記念事業を受けて増加に転じております。						
改善の方策等	文化芸術団体のネットワークの強化については、不十分な状況ですが、今後、文化芸術団体の交流の機会を設定し、各団体の情報等も提供できるよう努めてまいります。						

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①文化芸術活動への支援	文化芸術振興課	A	B	
	②文化芸術活動の場の整備	文化芸術振興課	B		
③文化交流の促進	文化芸術振興課・国際文化交流課	C			
				B	
学識経験者等意見	新しくできるホールについては、コンサートだけでなく映画や演劇など幅広い芸術に触れることができるように整備してもらいたい。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(1)行政の国際化			担当課	担当課評価
細 施 策	①共生意識を醸成するための相互理解の推進			文化スポーツ部 国際文化交流課	A
施策の内容	外国籍市民と日本人市民は、同じ地域社会を構成する一員として、共生していくという意識を持つことが大切であり、異なる文化を理解し、相互に尊重し、相互に助け合うことができるよう、具体的な交流や国際理解教育を進めて共生意識を醸成していきます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・広報川越の内容を抜粋し、月1回英語版広報川越を発行しました。 ・外国籍市民会議を開催し、市長への提言を行いました。 ・外国籍市民生活ガイドブックの内容改訂(従来の4カ国語から5カ国語)を行い、発行をしました。 ・国際理解講座(1講座)を開講しました。 ・市ホームページの中の外国語ページを充実しました。 ・外国籍市民相談として、生活相談(中国語及びスペイン語)を月各2回、法律相談、行政書士相談を月各1回実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	英語版広報川越の発行(回)	12	12	12	
	外国籍市民会議の開催(回)	6	6	6	
評価の理由	月1回の英語版広報川越の発行、外国籍市民会議の開催などを定期的に行っており、また、外国籍市民生活ガイドブック改訂版の発行を行うなど、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	平成25年度に生活ガイドブックの内容を改訂するとともに、外国籍市民のための川越市公共施設案内の作成に向け準備を行うなど、今後も共生意識を醸成するよう、事業を行ってまいります。				

施策の柱	(1)行政の国際化			担当課	担当課評価		
細 施 策	②留学生の支援			文化スポーツ部 国際文化交流課	B		
施策の内容	国際交流センター受付業務の提供、インターンシップ制度の普及、一般市民との触れ合いを通じての相互理解の場などを提供し、留学生を支援します。						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流センター受付業務を留学生(東京国際大学・尚美学園大学)に依頼しています。 ・国際交流センターにインターネットコーナーを設置し、留学生の勉学の一助としています。 ・大学が小学校、中学校及び高等学校で行う国際理解教育のために留学生を派遣する事業に協力しました。 ・外国籍市民会議の委員として留学生に参加してもらいました。 						
指標及び説明	【指標】 国際交流センター利用人数		【説明】 国際交流センターの開館日1日あたりの利用者数				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	人	84	73	68	64		120
評価の理由	1日当たりの国際交流センター利用人数の実績値は、前年度と比べてほぼ横ばいですが、国際交流センター受付業務の留学生への依頼、国際交流センターにインターネットコーナーの設置、学校への留学生派遣事業への協力などの取組ができているため、概ね順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	国際交流センターの事業について、広報紙や公式ホームページを利用するとともに、公民館などにも配布し、国際交流センターを広く利用していただけるように市民に向けて広く周知してまいります。						

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(1) 行政の国際化			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	① 共生意識を醸成するための相互理解の推進	国際文化交流課	A	A	A
	② 留学生の支援	国際文化交流課	B		
学識経験者等 意見	留学生との交流を図ることが学校における国際理解教育を推進する上で大変効果があると思うため、これからも一層努めてもらいたい。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	①人材の開発と育成			文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	海外勤務経験者、帰国子女、教員、外国籍市民などさまざまな経歴を有する優れた人材を発掘し、地域の国際化の担い手として育成します。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 日本語指導員養成講座を実施し、外国籍市民に日本語を教えられる人材の育成に努めました。 川越市外国籍市民国際人材ネットを募集しました。 日本語講座「クラッセで日本語」において、外国籍市民のための日本語教室を毎週3日(月・金・土)開催しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	日本語指導員養成講座参加者数(人)	373(3講座)	751(4講座)	525(4講座)	
	川越市外国籍市民国際人材ネット年度末登録者数(人)	36	40	40	
評価の理由	日本語指導員養成講座の講座期間が2年半のため、当初講座参加者が後半に少なくなる傾向があるなどの問題のため参加者数は減少となっておりますが、大学講座に準じた内容であり、講座修了時には有能な日本語指導員を養成することから有意義な講座を実施しており、また外国籍市民のための日本語教室を毎週3日実施しているなど、概ね順調に進ちょくしています。				
改善の方策等	日本語指導員養成講座の内容の見直しを行い、受講しやすくする工夫をします。また、今後も共生意識を醸成するよう、多文化理解についての人材を発掘、育成してまいります。				

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	②NGOなどとの協力と連携			文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	国際交流や国際協力に取り組む市民団体、外国籍市民を支援する市民団体等と連携・協力し、地域の国際化を推進していきます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍市民を支援する市民団体等が行う、国際貢献事業に対する補助金の交付を行いました。 市民団体が主催する日本語教室、中国語教室を連携して実施しました。 市民団体が主催する「かわごえ国際交流フェスタ」を連携して実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	国際貢献事業補助金(件)	5	3	2	
	市民団体と連携した講座等の延べ参加者数	6,523	5,461	6,280	
評価の理由	国際貢献事業補助金は昨年度から減っているが、これはイベントに対する補助金であり、他の補助金を活用したり、補助金を受けずに活動している団体もあるため、件数だけで判断できないと考えます。また、市民団体が主催する事業を連携協力して実施し、多くの参加者数となっているなど、概ね順調に進ちょくしています。				
改善の方策等	本補助金制度を広く周知し、外国籍市民を支援する市民団体等と連携協力することで、地域の国際化を推進してまいります。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	③地域の国際化推進体制の整備			文化スポーツ部 国際文化交流課	C
施策の内容	地域の活動を効果的に展開するために、市民や市民国際交流団体が中心となる機関を設置し、社会的に認知されるまでの間、行政が支援していきます。				
平成24年度実績	国際貢献事業補助金を申請する団体や市役所を訪問した団体から、その団体の活動についての話を伺うなど、川越市内の市民の国際交流団体の把握に努めました。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	国際貢献事業補助金利用団体数	5	3	2	
評価の理由	国際貢献事業補助金の相談や申請の際に団体活動について話を伺っておりますが、市民団体の把握については、あまり順調ではありません。				
改善の方策等	今後も川越市内で活動している団体から話を伺うほか、他市の状況についても調査・研究し、市民団体の把握に努め、市民活動による地域の国際化が推進されるよう検討してまいります。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2) 国際感覚に優れた市民の育成				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①人材の開発と育成	国際文化交流課	B	B	
	②NGOなどとの協力と連携	国際文化交流課	B		
③地域の国際化推進体制の整備	国際文化交流課	C			
学識経験者等 意見	特になし				B

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(3)姉妹都市交流の更なる充実		担当課	担当課評価			
細 施 策	①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化		文化スポーツ部 国際文化交流課	B			
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流を一層発展させるため、川越市姉妹都市交流委員会との連携を図り、支援します。 ・姉妹都市交流の有効活用を通じて、市民に国際交流の場を提供し、青少年の国際理解を推進します。 						
平成24年度実績	オフエンバッハ市訪問中学生交流団の派遣、セーレム市公式訪問団の受入れ、オータム市公式訪問団の受入れ、市立川越高等学校ノースセーレム高校交流団の受入れ、日独ビジネス研修生相互派遣を実施しました。						
指標及び説明	【指標】 姉妹都市(海外)間の交流数	【説明】 海外姉妹都市との年間交流回数					
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)
	件	3	H22 5	H23 3	H24 8	H25 /	H26 /
評価の理由	平成24年度は市制施行90周年記念式典があったこともあり、国外姉妹都市からの訪問が増加し、概ね順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	海外姉妹都市との交流については実施時期や規模、費用など難しい面はありますが、目標値の実施に向けてさまざまな交流方法を研究・検討してまいります。						

施策の柱	(3)姉妹都市交流の更なる充実		担当課	担当課評価
細 施 策	②新しい地域、都市との交流創出		文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	身近なアジアの地域とは、政治・経済・歴史・文化などさまざまな分野で相互理解し、発展するために、より質の高い交流・協力関係を構築していきます。			
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流委員会において、川越市における今後の方向性について機会があるごとに研究しております。 ・川越市日中友好協会の主催する中国語講座(中国大使館の後援)を連携して実施しました。 ・川越市外国籍市民会議の委員がアジア出身者で8割の構成となっており、交流協力関係を築いています。 ・国際交流センターの受付業務をアジアからの留学生に行ってもらいました。 			
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24
	川越市姉妹都市交流委員会(回)	2	3	3
評価の理由	姉妹都市交流委員会において、アジア地域との新たな交流について調査・研究を進めており、また、アジア関連講座の共催やさまざまな交流を行っており、概ね順調に進ちよくしています。			
改善の方策等	アジア地域との交流については、姉妹都市という関係にとらわれない新たな交流の方法を探り、市民に更なる国際交流や異文化理解の場を提供していくよう努めてまいります。また、他市の状況等も調査し、今後、取り組むべきアジア地域との交流に向けて、調査・研究していきたいと考えております。			

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(3) 姉妹都市交流の更なる充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化	国際文化交流課	B	B	B
	②新しい地域、都市との交流創出	国際文化交流課	B		
学識経験者等 意見	アジアの都市と姉妹都市交流している自治体は、頻繁に相互交流の場を設けていることが多いため、検討をお願いしたい。				

【方向性】 Vー生涯スポーツの推進
 【施策】 1 生涯スポーツの推進

施策の柱	(1)スポーツ活動の推進						担当課	担当課評価
細 施 策	①総合型地域スポーツクラブの設置・育成						文化スポーツ部 スポーツ振興課	B
施策の内容	誰もが、いつでも、どこでもスポーツに取り組めるようにするため、各地域で自主的に運営する総合型地域スポーツクラブの設置・自立を支援していきます。							
平成24年度実績	日本スポーツ振興センターの平成24年度総合型地域スポーツクラブ創設支援事業の助成を受け、平成25年3月に市内で3つめのクラブとして山田地区に「川越山田スポーツクラブ」が設立しました。							
指標及び説明	【指標】 総合型地域スポーツクラブの設置数				【説明】 市内に創設された総合型地域スポーツクラブの数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	件	2	2	2	3		5	
評価の理由	総合型地域スポーツクラブ設置数について実績が伸び、今後設立を目指す団体への説明会の実施や他クラブへの視察の支援を行っており、概ね順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	今後も、他の地域にも総合型地域スポーツクラブを設置できるように、情報提供を図っていきます。							

施策の柱	(1)スポーツ活動の推進						担当課	担当課評価
細 施 策	②スポーツ教室・大会等の充実						文化スポーツ部 スポーツ振興課	B
施策の内容	スポーツへのきっかけをつくり、継続していくことができるようにするため、魅力あるスポーツ教室・大会等の充実を図っていきます。							
平成24年度実績	スポーツ実施率は、前年度よりも17.3ポイント減少となりました。より多くの方がスポーツに親しむことができるよう、10のスポーツ教室や「大学野球交流戦」「生涯スポーツフェスティバル」「小江戸川越マラソン2012」等の特色ある大会を実施しました。							
指標及び説明	【指標】 スポーツ実施率(成人の月1回以上のスポーツ実施率)				【説明】 成人における月1回以上スポーツを実施した人の割合			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	%	46.8	実施なし	65.2	47.9		60.0	
評価の理由	スポーツ実施率は前年度を下回りましたが、平成23年度実施の「市民アンケート」と平成24年度実施の「市民意識調査」の質問方法の違いによると思われます。各教室、大会等は内容を充実させながら実施しており、本施策全体としては概ね順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	市民のスポーツに対する実態やニーズを考慮し、各教室・大会の内容の更なる充実を図っていきます。							

【方向性】 V－生涯スポーツの推進

【施策】 1 生涯スポーツの推進

施策の柱		(1) スポーツ活動の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①総合型地域スポーツクラブの設置・育成	スポーツ振興課	B	B	B
	②スポーツ教室・大会等の充実	スポーツ振興課	B		
学識経験者等 学識 意見	特になし				

【方向性】 V－生涯スポーツの推進
 【施策】 1 生涯スポーツの推進

施策の柱	(2)スポーツ環境基盤整備			担当課	担当課評価
細 施策	①スポーツ指導者等の養成・活用			文化スポーツ部 スポーツ振興課	B
施策の内容	各スポーツ団体等を育成・支援するとともに、市民のニーズに合わせて適切な指導ができるようにするため、スポーツ指導者の養成に努め、その活用を図ります。				
平成24年度 実績	体育協会加盟団体が、それぞれの種目ごとに技術講習会や審判講習会を行い、適切な指導ができるようにスポーツ指導者の養成に努めました。また、スポーツ少年団の指導者に対し、認定員を養成する講習会を行いました。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	指導者養成講習会 実施団体数(団体)	29	30	30	
	スポーツ少年団スポーツ リーダー養成講習会(人)	46	50	54	
評価の理由	体育協会加盟団体31団体中30団体が指導者養成講習会を行っています。また、スポーツ少年団の認定員養成講習会も定員以上の申し込みがありました。上記団体以外にもスポーツ推進委員連絡協議会や女性スポーツ団体連絡協議会でも、指導者養成のための研修を行っています。				
改善の方策等	講習会や研修会の内容が、市内各地域や各団体に生かすことができるよう、スポーツ指導者の活用について今後検討していきます。				

施策の柱	(2)スポーツ環境基盤整備			担当課	担当課評価
細 施策	②スポーツ施設等の整備・充実			文化スポーツ部 スポーツ振興課	B
施策の内容	スポーツ活動の場を確保するため、既存スポーツ施設の計画的な整備・改善、新設体育館の建設に取り組みます。				
平成24年度 実績	既存スポーツ施設については、川越運動公園陸上競技場の改修工事を行い、第2種公認を得ることができました。新設体育館については、用地の取得まで進んでおります。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	主な運動施設の 修繕件数(件)	68	71	90	
	新設体育館検討会 議の開催数(回)	3	3	1	
評価の理由	新設体育館の建設については、計画通り土地の売買契約を締結することができました。また、既存スポーツ施設の改修工事や修繕が計画的に行うことができ、概ね順調に進捗しています。				
改善の方策等	施設の改修工事や修繕、新設体育館の建設には、予算が伴うことから、計画通りに進められないこともあります。				

【方向性】 V－生涯スポーツの推進

【施策】 1 生涯スポーツの推進

施策の柱		(2) スポーツ環境基盤整備			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①スポーツ指導者等の養成・活用	スポーツ振興課	B	B	B
	②スポーツ施設等の整備・充実	スポーツ振興課	B		
学識経験者等 意見	スポーツ指導者の体罰が社会問題化しているため、特に体罰の禁止については、色々な研修の過程で十分に指導してもらいたい。				